TOYO KITCHEN

スライドドア収納庫

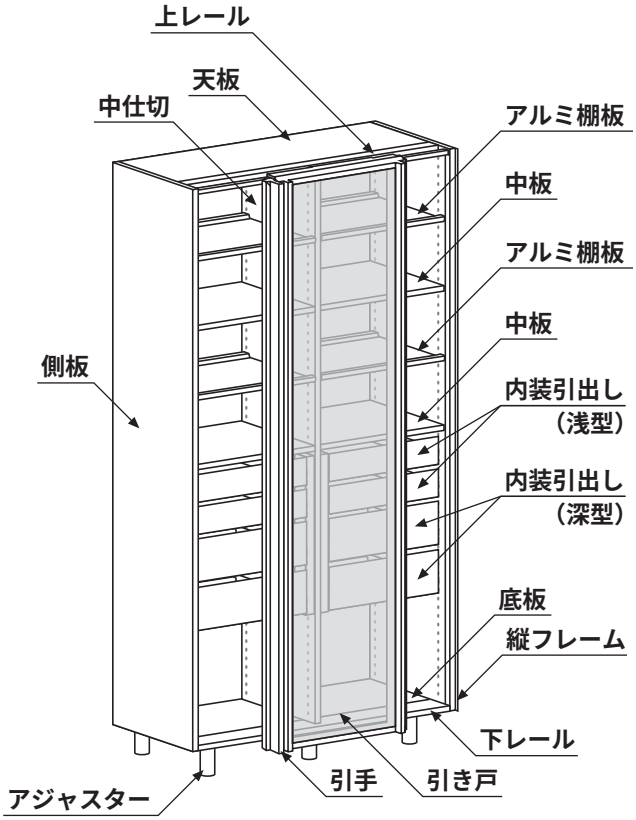
MNT ☆ - 90(120)HCATSG(SM･SW)
MNT ☆ - 90(120)HBATSG(SM･SW)
MNT ☆ - 90(120)TNSG(SM･SW)
MNT1J2 - 90(120)AHKSG

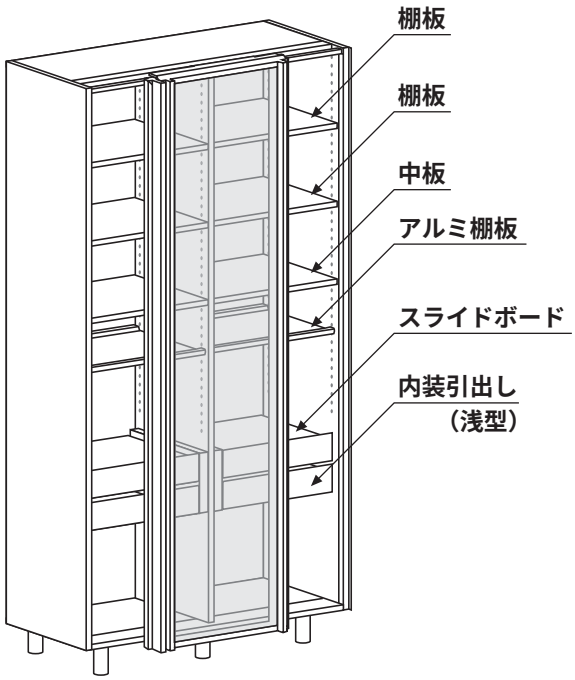
取扱説明書・据付工事説明書

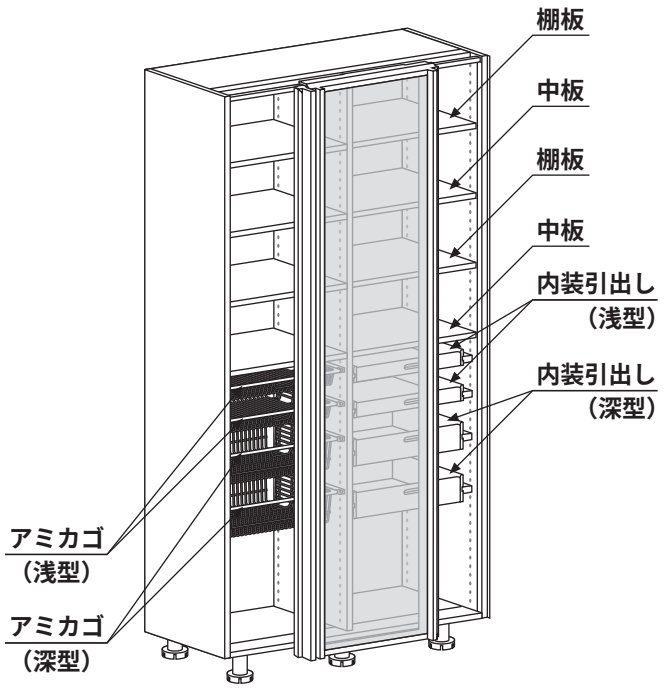
このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

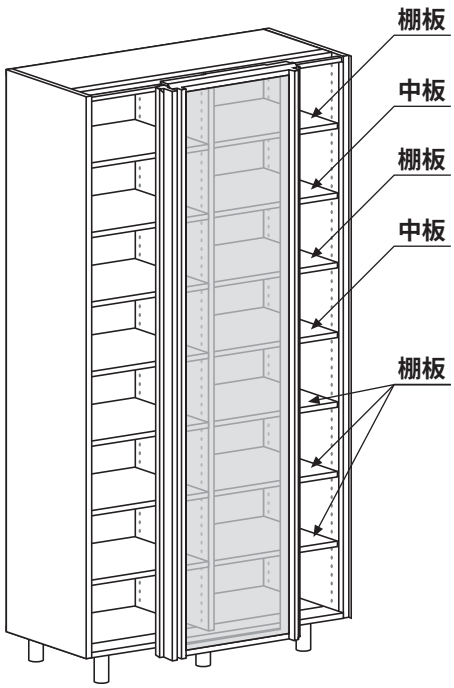
■この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。

■取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。









もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意 …… 1～2
・ご使用に際して …… 3～7
・お手入れ方法／ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて／ …… 7
　アフターサービスについて／ホルムアルデヒド発散区分

据付工事説明書

・安全上のご注意 …… 8～9
・据付け前の確認／据付けスペースの確認 …… 9
・製品寸法図 …… 10～11
・部品の確認 …… 12～14
・部品の取付け …… 15～18
・ユニット本体の組立て …… 19～21
・中板の取付け …… 22
・上フレームの固定、穴キャップの取付け／カバーキャップの取付け …… 23
・引き戸の取付け …… 24～25
・引き戸の調整 …… 26
・ユニット本体の固定 …… 27
・インナーパーツの取付け …… 28～35
・アース付コンセントの取付け【電気工事】 …… 36
・ウイングＡＦの取付け …… 37～38
・ステンレスカバーＡＦの取付け …… 39～40
・ケコミ板の取付け …… 41～43
・据付け後の確認／据付け後の点検・清掃／ホルムアルデヒド発散区分 …… 44

取扱説明書

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」**をいう。
⚠ **注意**	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」**をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、**製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する**図記号です。
	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

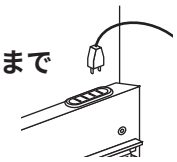
⚠ 警告

分解・修理・改造は絶対にしないでください。

分解禁止

感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。故障と思われた時は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社にご連絡ください。

スライドコンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。



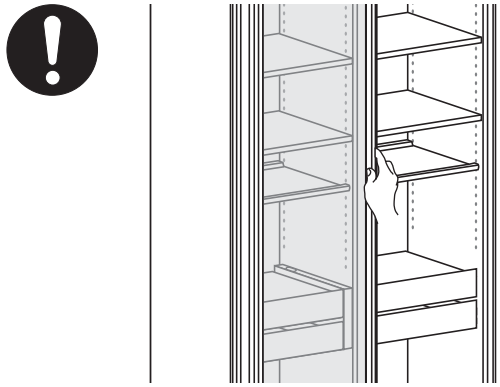
発熱により、火災の原因になることがあります。

スライドコンセントに水をかけないでください。

感電や火災の原因になることがあります。

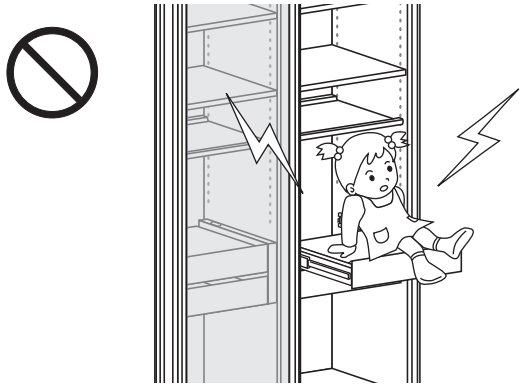
⚠ 注意

引き戸の開閉は、必ず引手を持って、静かに行ってください。



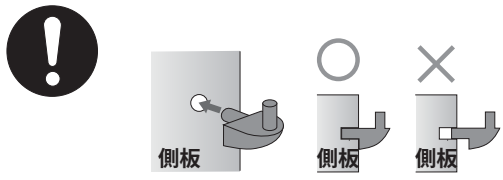
指等をはさんだり、思わぬケガをする恐れがあります。

内装引出し、スライドボード、アミカゴにぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。



ケガや破損の恐れがあります。

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

引き戸を閉める際は、内装引出し、スライドボード、アミカゴが閉まっていることを確認してください。

引き戸が内装引出し、スライドボード、アミカゴに当たって、ケガや破損の恐れがあります。

引き戸に強い衝撃を与えないでください。

アルミが変形したり、ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

棚板、内装引出し、スライドボード、アミカゴには指定の荷重以上載せないでください。

載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

濡れた手でコンセントにさわらないでください。

感電する恐れがあります。

ご使用に際して

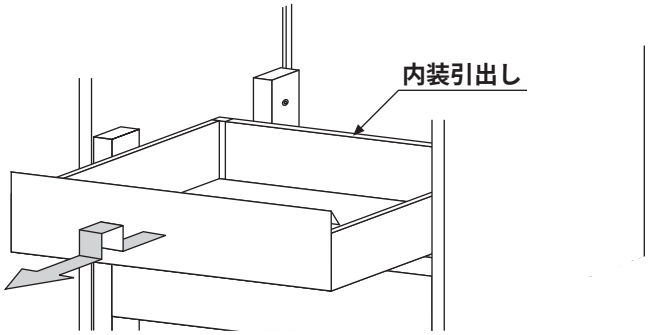
1　内装引出しの取り外し、取付け

【MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊、MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

[取り外し]

・内装引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。

※必ず両手で内装引出しを持って取り外してください。



[取付け]

・内装引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図１）
・内装引出しレールの上に内装引出しを乗せてください。（図２）
・内装引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引出しレールに固定します。（図３）

図１

図２

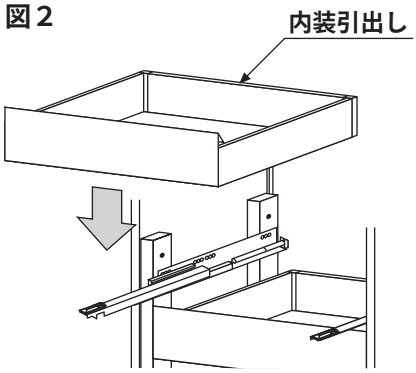
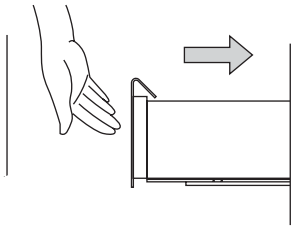


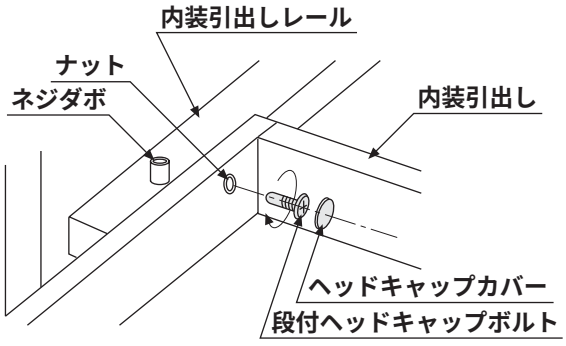
図３



【MNT1J2 - 90(120)AHKSG の場合】

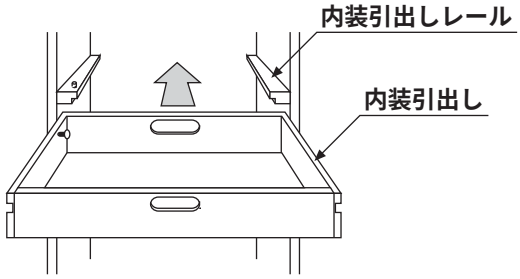
[取り外し]

・ヘッドキャップカバーを外し、段付ヘッドキャップボルトがネジダボに当たらないようになるまでゆるめてから、内装引出しを取り出してください。



[取付け]

・内装引出しを内装引出しレールに差し込んでください。
・内装引出しのナット部へ段付ヘッドキャップボルトを矢印の方向へ回して固定してください。
・ヘッドキャップカバーを取付けてください。

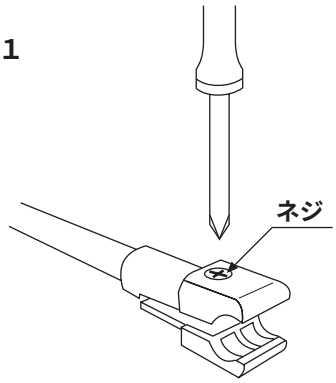


2　クロスギャラリーの取付け（※オプション）

【MNT ☆‐90(120)HCATS ＊の内装引出し（深型）の場合のみ】

・クロスギャラリーのネジをゆるめます。（図１）
・内装引出し（深型）のギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。（図２、図３）
・クロスギャラリーのネジを締めます。（図１）
※取り外す時は、逆の手順で行います。

図１



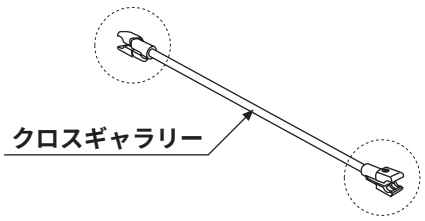


図２

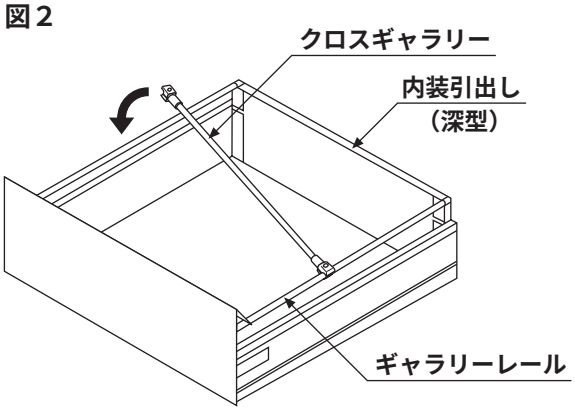
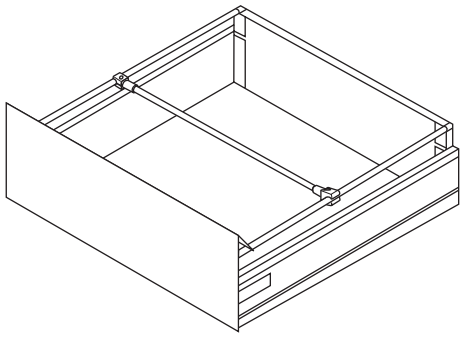


図３



3．スライドボードの取り外し、取付け

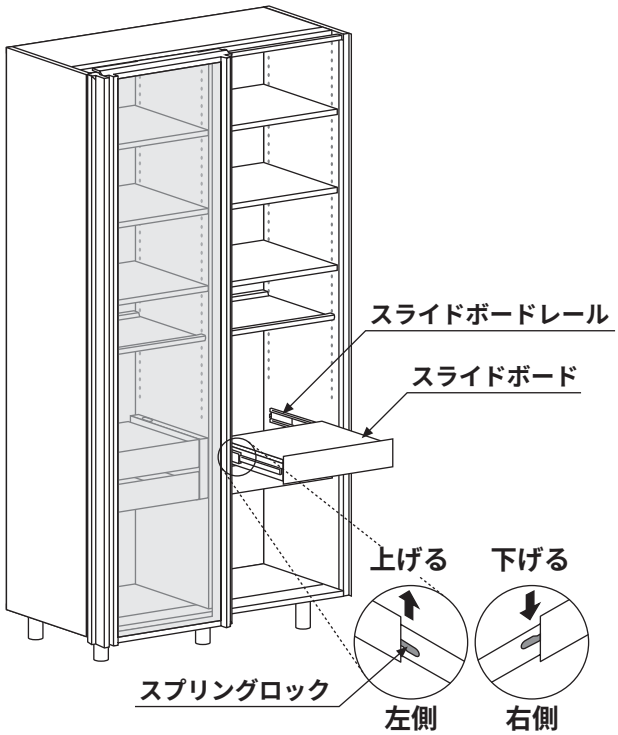
【MNT ☆‐90(120)HBATS ＊の場合】

[取り外し]

スライドボードをいっぱいまで引出した後、スライドボードレールについているスプリングロックを左側は上げながら、右側は下げながらさらに引出します。

[取付け]

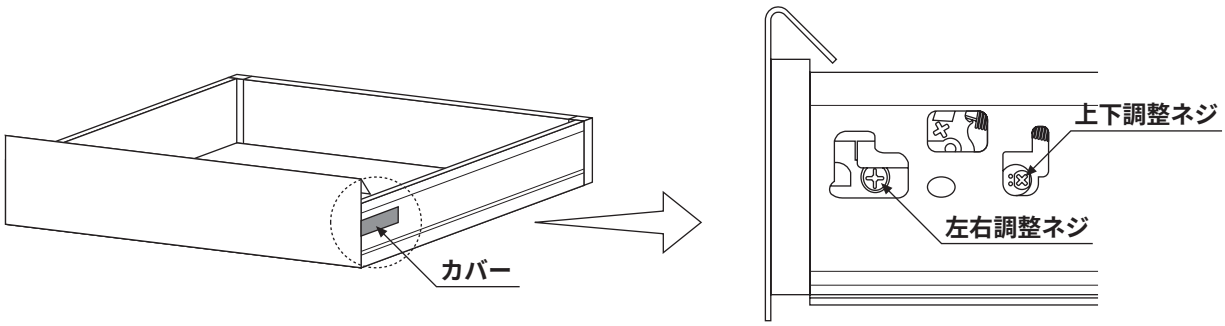
ユニット本体に取付いているスライドボードレールに、スライドボード本体のレールを差し込むようにスライドさせて取付けます。



4　内装引出し前板の調整

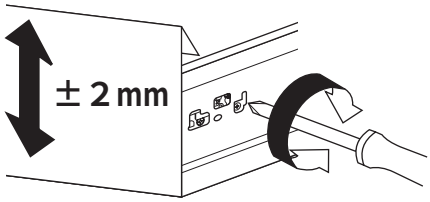
【MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊、MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

・内装引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



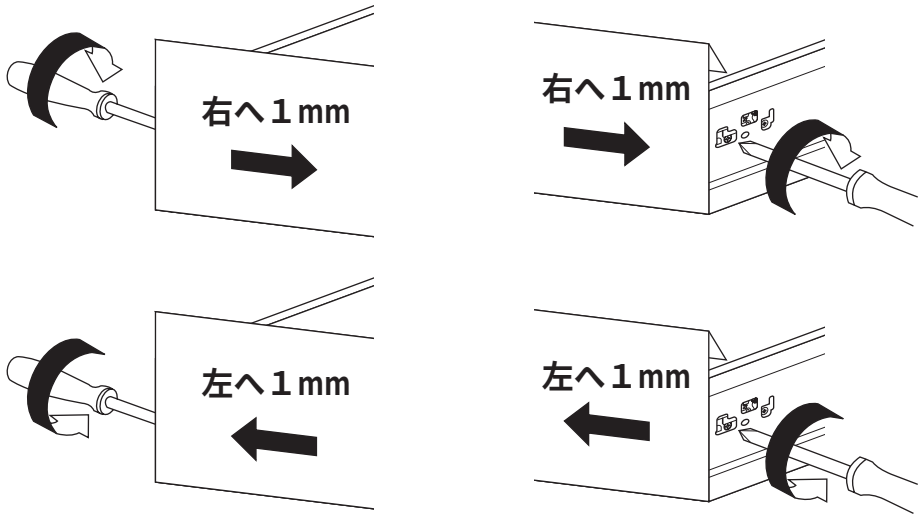
［上下方向の調整］

・上下調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の上下方向を調整します。
・±２mm調整できます。



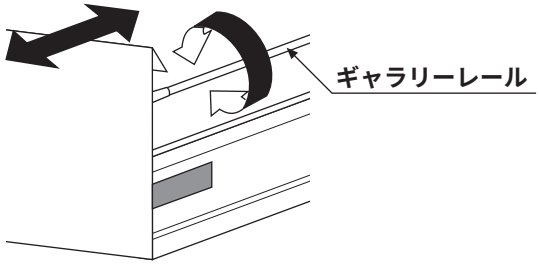
［左右方向の調整］

・左右調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の左右方向を調整します。
・±１mm調整できます。



［前板の傾き調整］

※MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊の内装引出し（深型）のみ調整できます。
・ギャラリーレールを回して、内装引出し前板の傾きを調整します。

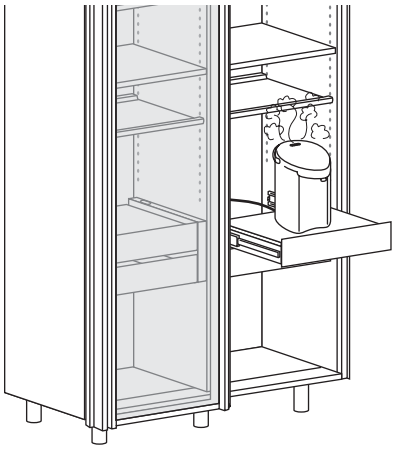


5　スライドボードについて

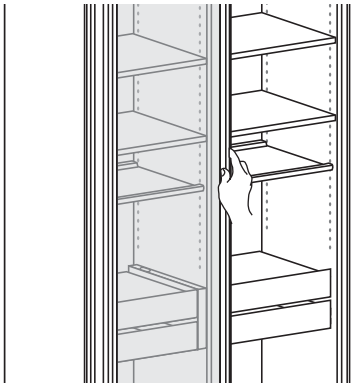
【MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

電化製品をご使用になる時は、必ずスライドボードを引出してください。

炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、本体の変形の原因になります。また、水蒸気が電化製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。



6　引き戸の開閉は、引手の中央付近を持って行うとより滑らかな開閉ができます。



7　引き戸（ミラー）に水等が付着した場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

鏡の銀は薬品により腐食する恐れがあります。また、水は腐食を促進させることがあります。

8　引き戸に強い衝撃を与えないでください。

アルミが変形したり、ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

9　高熱のものは近づけないでください。

暖房器具等を近づけると、引き戸の変形の原因になります。

１０弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、ガソリン・アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤、ワックス・化学雑巾等は、絶対に使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。

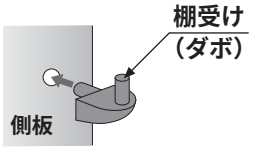
１１耐荷重

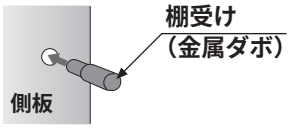
内装引出し	**15kg**	アルミ棚板	**15kg**
スライドボード	**15kg**	棚板（W=900の場合）	**30kg**
アミカゴ	**10kg**	棚板（W=1200の場合）	**15kg**

※**5kg** … 直径**20cm**のお皿**15枚**程度を目安にしてください。
※均等に物を載せた場合の耐荷重です。

１２棚板の位置変え

棚板は、お好みの位置に変えられます。
その際は、棚受け（ダボ）の位置も変えてください。





お手入れ方法

●通常のお手入れは、柔らかい布を水またはお湯に浸し、よく絞ってから拭いてください。

※汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。

●ガラスや鏡部分のお手入れは、乾布または湿った布で拭いてください。
市販のガラスクリーナー等を使用する場合は、鏡裏面や端部にガラスクリーナーが付着しないようにしてください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

１．弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

２．弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。

３．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容
・ご氏名　・ご住所　・電話番号　・お買い上げ日　・異常の内容　・品番

■製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において１年間です。

ホルムアルデヒド発散区分　　内装仕上げ部分及び下地部分とも　　F☆☆☆☆
表示ルール　　「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会　表示指針による

据付工事説明書

安全上のご注意 必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」**をいう。
⚠ **注意**	この表示の欄は**「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」**をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

❗	この図記号は、**製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する**図記号です。

■据付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを
確かめてください。

■この「取扱説明書・据付工事説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時に
お客様へお渡しください。

⚠ 警告

スライドドア収納庫の据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

❗

転倒して、ケガをする恐れがあります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。

❗

火災、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

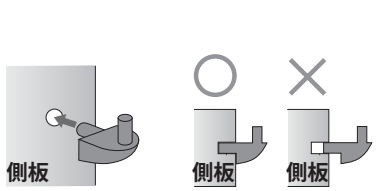
スライドドア収納庫は、必ず壁面に固定してください。

転倒して、ケガをする恐れがあります。

工事完了後は、引き戸のがたつきや部品のゆるみが無いことを確認してください。

使用中に引き戸が落下して、ケガをする恐れがあります。

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



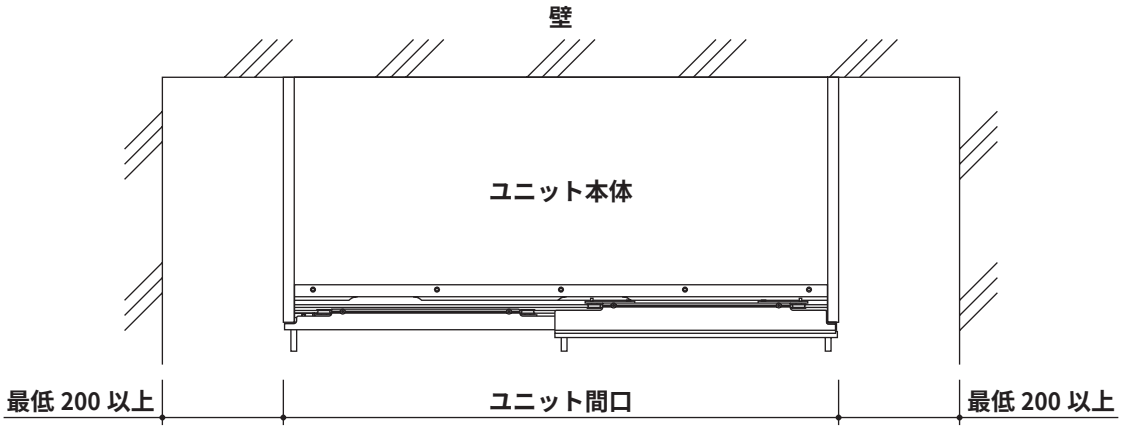
棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

据付け前の確認

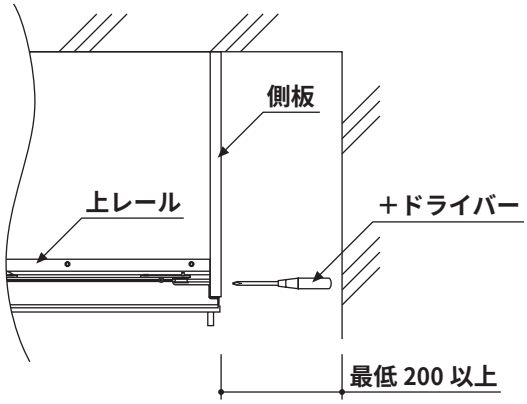
① **注文した製品が納入されているか確認してください。**
② **壁面の取付位置に取付桟があることを確認してください。**
③ **壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。**
④ **天井の高さが 2400 以上あることを確認してください。**

据付けスペースの確認

・据付けには、ユニットの間口寸法より左右ともに最低 200mm 以上のスペースが必要です。



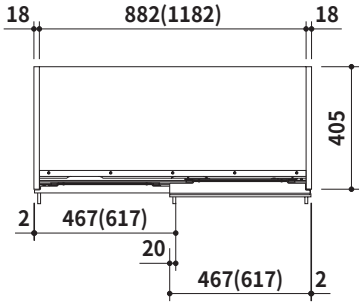
・側板の外側から上レールの固定を行いますので、＋ドライバーで固定作業ができるスペースが必要です。

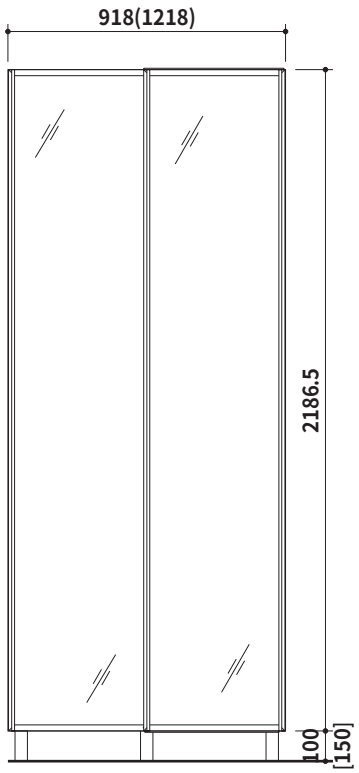


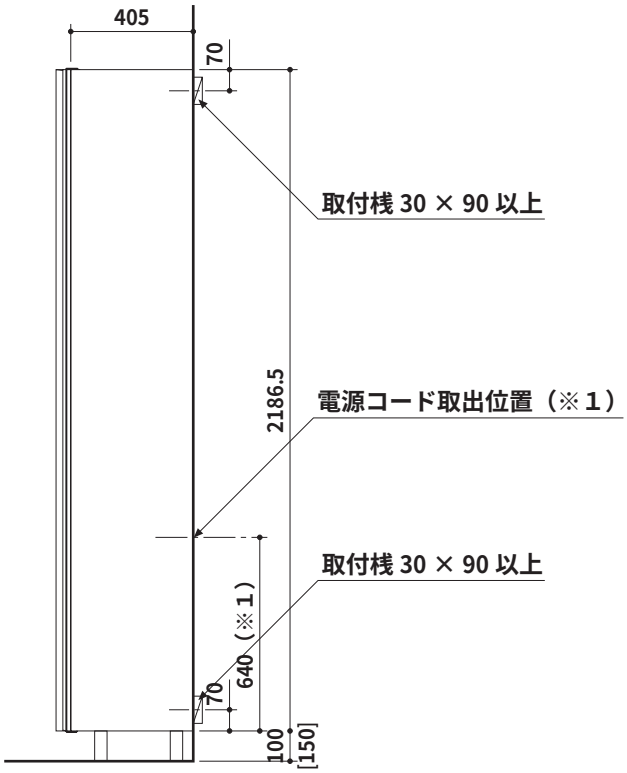
製品寸法図

※［　］内寸法は、ＡＦ仕様【Ｈ＝１５０】の場合を示す。

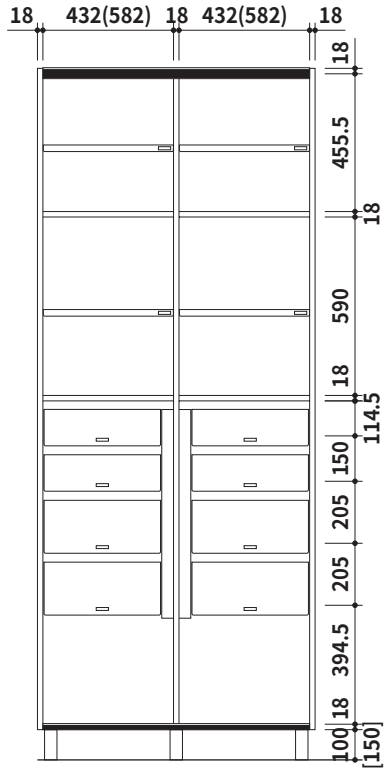
※１　MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合のみ。



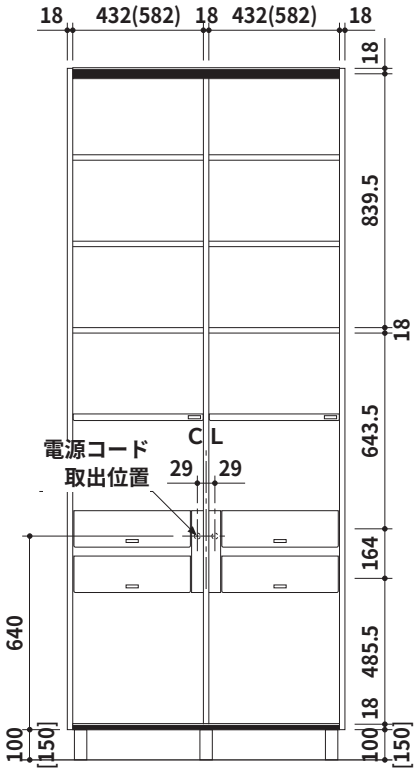




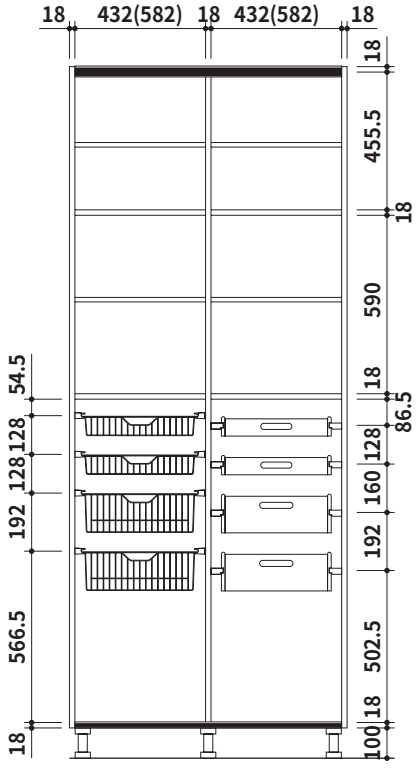
● MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊



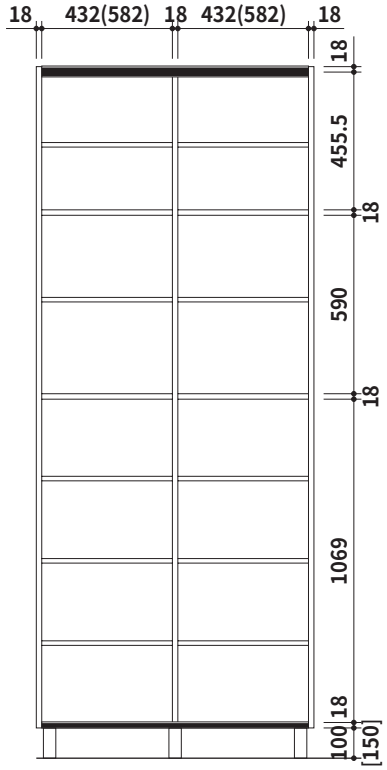
● MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊



●MNT1J2 - 90(120)AHKSG



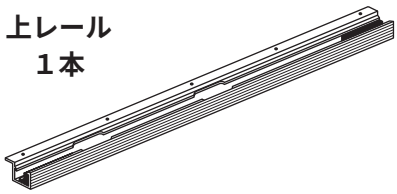
● MNT ☆ - 90(120)TNS ＊



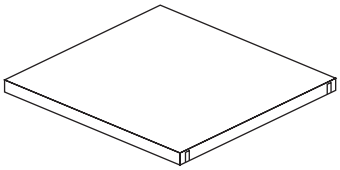
部品の確認

・スライドドア収納庫は下記の部品にて構成されています。
欠品等の無いことを確認してください。

上レール
１本

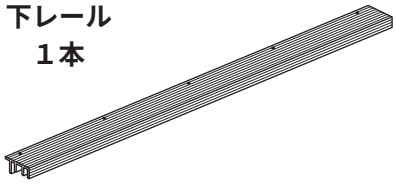


中板［部品付］
４枚【MNT ☆‐90(120)HCATS ＊】
【MNT1J2‐90(120)AHKSG】
【MNT ☆‐90(120)TNS ＊】
２枚【MNT ☆‐90(120)HBATS ＊】



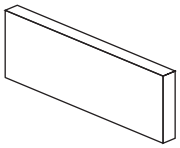
縦フレーム
１本

下レール
１本

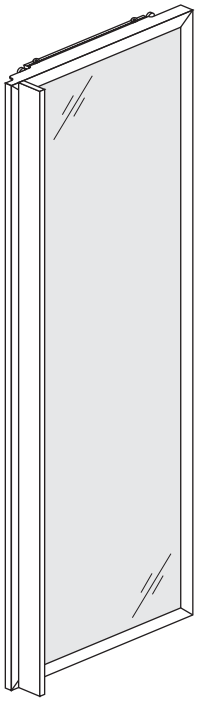


スライディングブロック
ＲＬ各２個

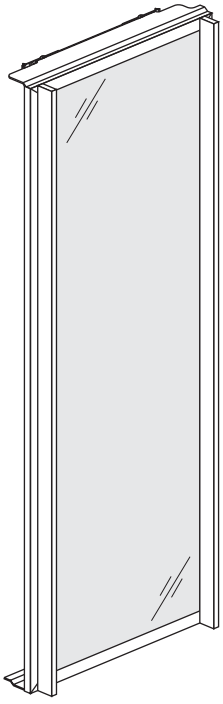
背板桟
４枚



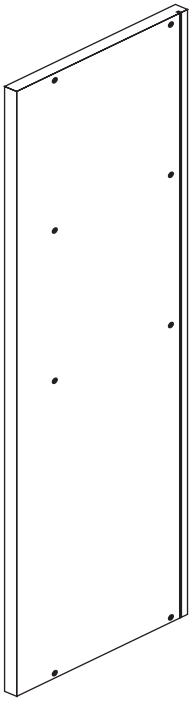
引き戸（Ｌ）
１枚



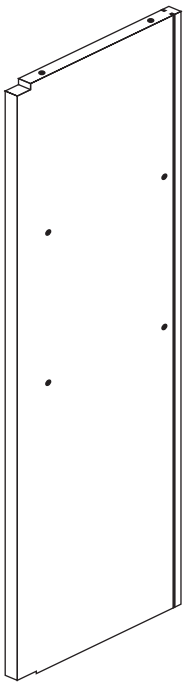
引き戸（Ｒ）
１枚



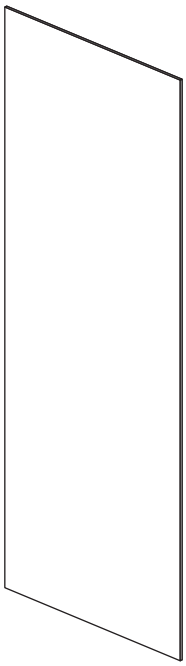
側板
ＲＬ各１枚



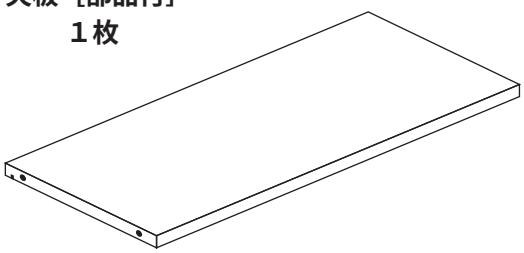
中仕切［部品付］
１枚



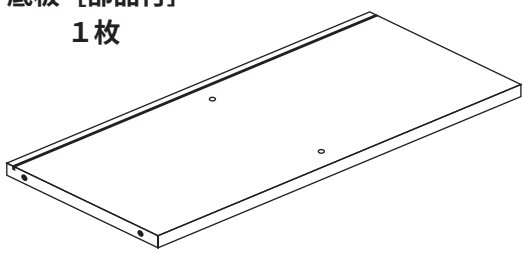
背板
２枚



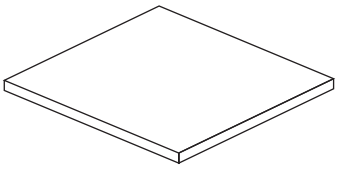
天板［部品付］
１枚



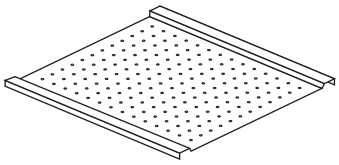
底板［部品付］
１枚



棚板［部品付］
４枚【MNT☆‐90(120)HBATS＊】
【MNT1J2‐90(120)AHKSG】
１０枚【MNT☆‐90(120)TNS＊】

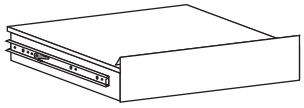


アルミ棚板［部品付］
４枚【MNT☆‐90(120)HCATS＊】
２枚【MNT☆‐90(120)HBATS＊】

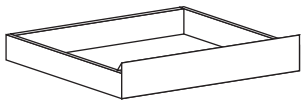


■ MNT☆‐90(120)HBATS＊

スライドボード
２段



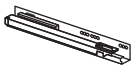
内装引出し（浅型）
２段



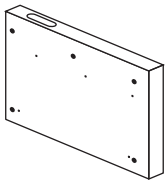
スライドボードレール
４本

ワッシャー
６個

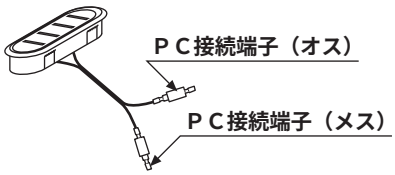
内装引出しレール
ＲＬ各２本



スペーサー
ＲＬ各１枚



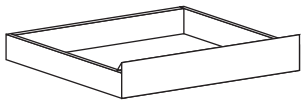
スライドコンセント（２個）
［ＰＣ接続端子付］



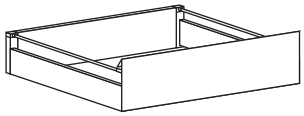
・⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 …… １２本
・⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 …… ８本
・⊕バインド小ネジ M4 × 30 …… １０本

■ MNT☆‐90(120)HCATS＊

内装引出し（浅型）
４段



内装引出し（深型）
４段



内装引出しレール
ＲＬ各８本

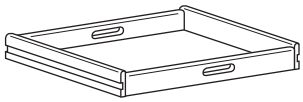
スペーサー
ＲＬ各２本

・⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 …… ３２本
・⊕バインド小ネジ M4 × 30 …… １６本

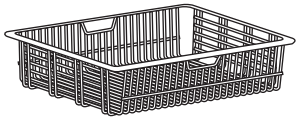
■ MNT1J2‐90(120)AHKSG

アミカゴ（浅型）
２段

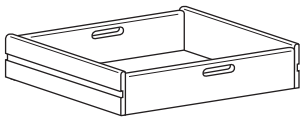
内装引出し（浅型）
２段



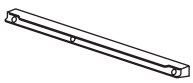
アミカゴ（深型）
２段



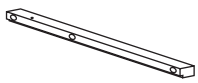
内装引出し（深型）
２段



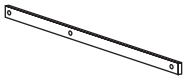
アミカゴレール
８本



内装引出しレール
［部品付］ ８本



スペーサー ４本



・⊕サラ小ネジ M4 × 16 …… ８本
・⊕サラ小ネジ M4 × 25 …… ８本
・⊕サラタッピンネジ 3.5 × 23 …… ４本

・⊕サラタッピンネジ 3.5 × 25 …… ４本
・⊕バインド小ネジ M4 × 25 …… １６本
・⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 30 …… ８本

《付属部品》

- ⊕サラタッピンネジ 3.5 × 13 …… ４本
- ⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 …… Ｗ９００の場合　１４本、Ｗ１２００の場合　１６本
- 丸木ネジ 5.1 × 50 …… ２本
- ヘッドキャップ木ネジ 4.5 × 50 …… ８本
- ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 …… １６本
- ヘッドキャップカバー …… ２４個
- 穴キャップ …… ４個
- 取説工説 …… １冊

《脚》

■ MNT ☆‐90(120) ＊＊＊＊＊＊（MNT1(5)J2‐90(120) ＊＊＊＊＊＊以外）

- アジャスター脚 …… ６個
- アジャスタープレート …… ６個
- Ｍ８セレート付きネジ …… ６個
- ⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 …… ２４本

■ MNT1(5)J2‐90(120) ＊＊＊＊＊＊

- アジャスター脚 …… ６個
- アジャスターベース …… ６個
- アジャスターフック …… ５個
- ⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 …… ６本

■ MNT1(5)J2‐90(120) ＊＊＊＊＊＊（MNT1J2‐90(120)AHKSG、MNT1J2‐90(120)TNSG 以外）

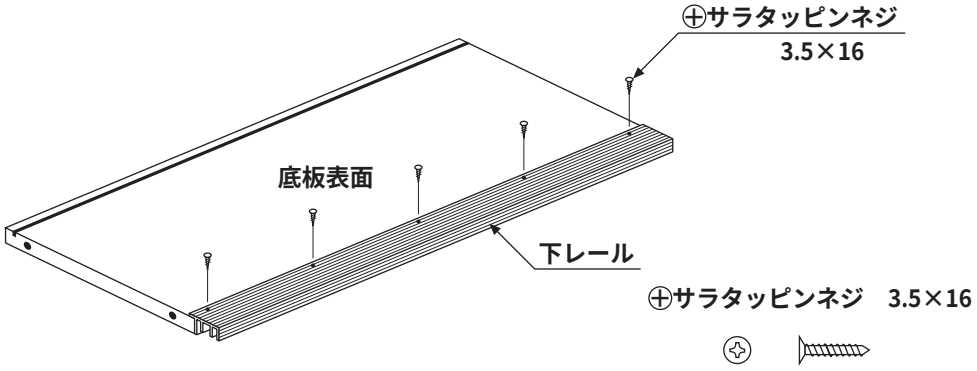
- ウイングＡＦまたはステンレスカバーＡＦ …… 一式

■ MNT1J2‐90(120)AHKSG、MNT1J2‐90(120)TNSG

- ケコミ板 …… 一式

■下レールの取付け

・底板表面にあいている下穴に下レールの穴を合わせ、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16（５ヶ所）にて底板に取付けます。（Ｗ９００の場合、４ヶ所）

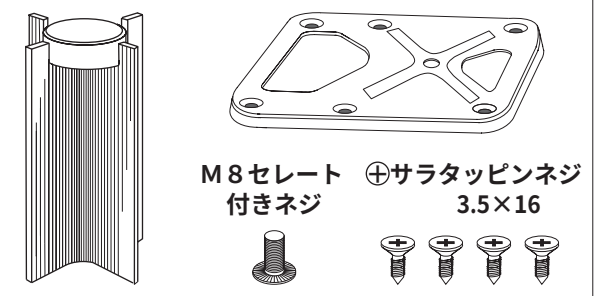


■アジャスターの取付け

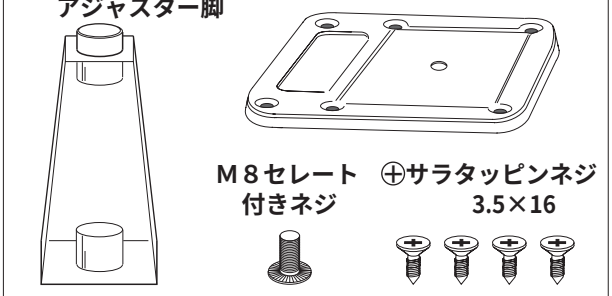
【MNT ☆ - 90(120) ＊＊＊＊＊＊の場合】（MNT1(5)J2 - 90(120) ＊＊＊＊＊＊以外）

［部品名称］

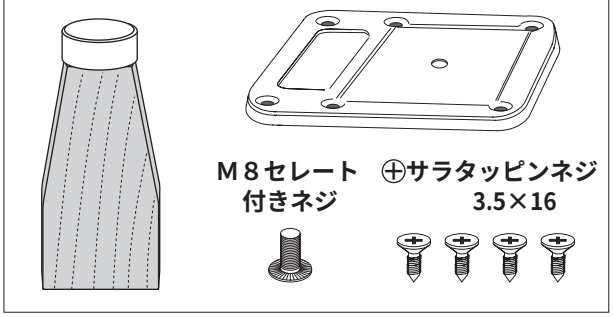
■ MNT1(5) - 90(120) ＊＊＊＊＊＊



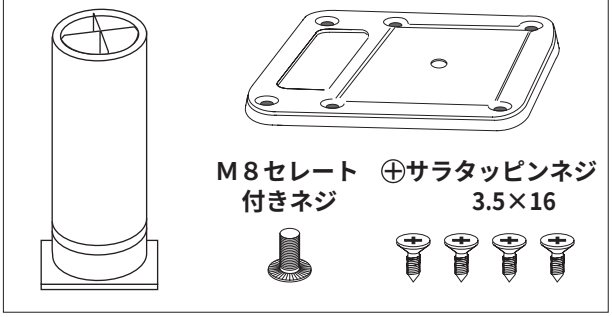
■ MNT1(5)C - 90(120) ＊＊＊＊＊＊



■ MNT1(5)M1(2) - 90(120) ＊＊＊＊＊＊

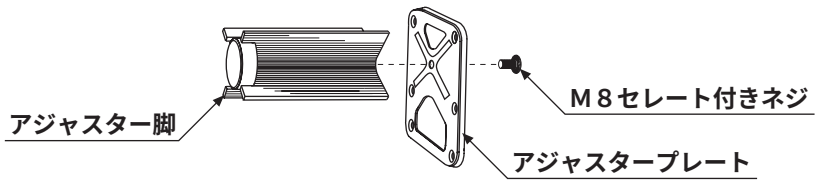


■ MNT1(5)J1(3･4) - 90(120) ＊＊＊＊＊＊



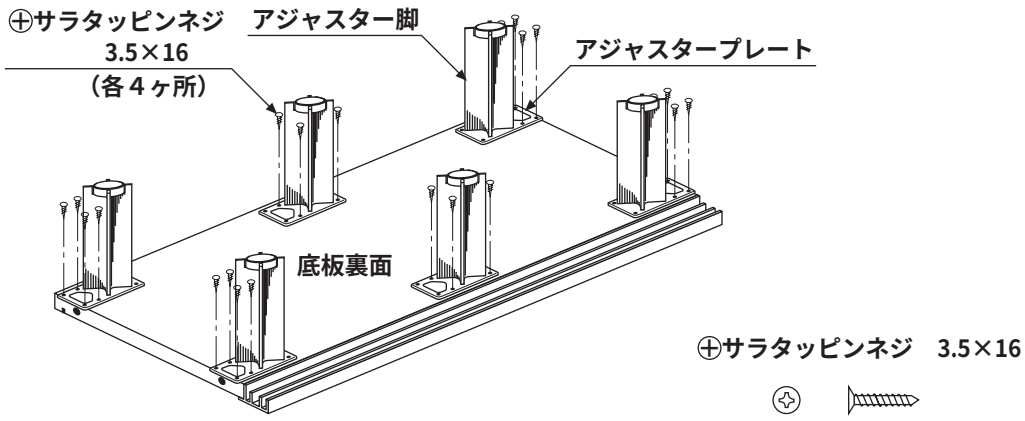
・Ｍ８セレート付きネジを使用し、アジャスタープレートにアジャスター脚を固定します。

※イラストはアルミＡＦ仕様ですが、その他のＡＦ仕様も同じです。



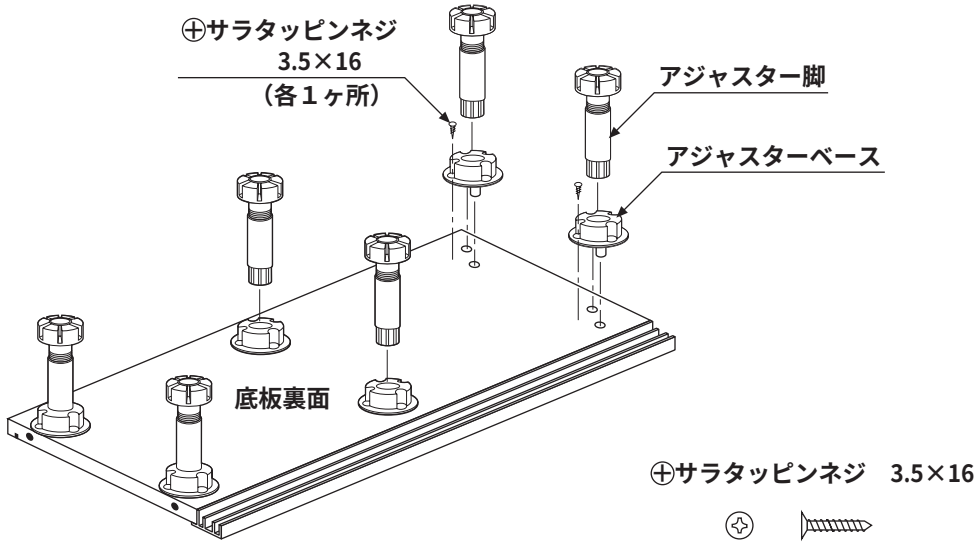
・底板裏面の取付穴にアジャスタープレートを合わせ、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 にて底板に固定してください。

※イラストはアルミＡＦ仕様ですが、その他のＡＦ仕様も同じです。



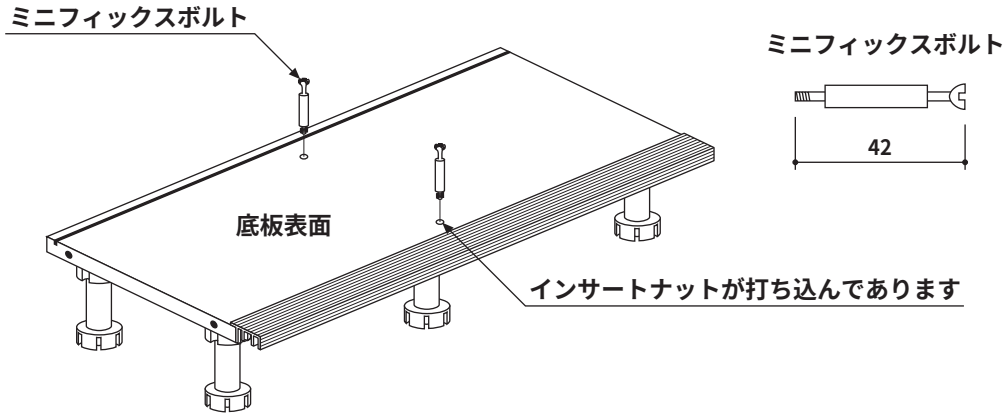
【MNT1(5)J2‐90(120) ＊＊＊＊＊＊の場合】

・底板裏面の取付穴にアジャスターベースをはめ込み、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 にて底板に固定してください。
・アジャスター脚をアジャスターベースの取付穴にはめ込んでください。



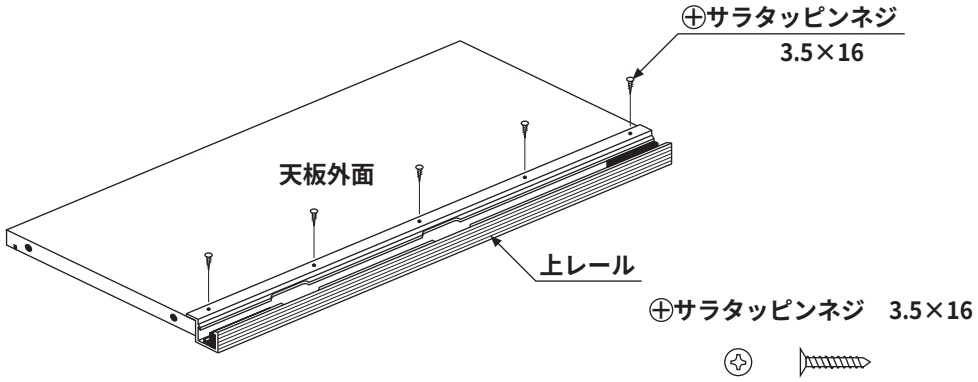
■ミニフィックスボルトの取付け－底板

・底板表面の中央の穴（インサートナットが打ち込んであります）に、中仕切取付用のミニフィックスボルトを＋ドライバーで取付けてください。



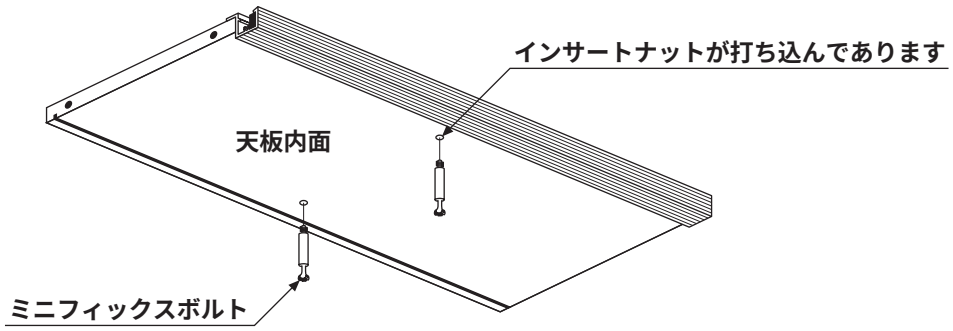
■上レールの取付け

・天板外面にあいている下穴に上レールの穴を合わせ、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16（５ヶ所）にて天板に取付けます。（Ｗ９００の場合、４ヶ所）



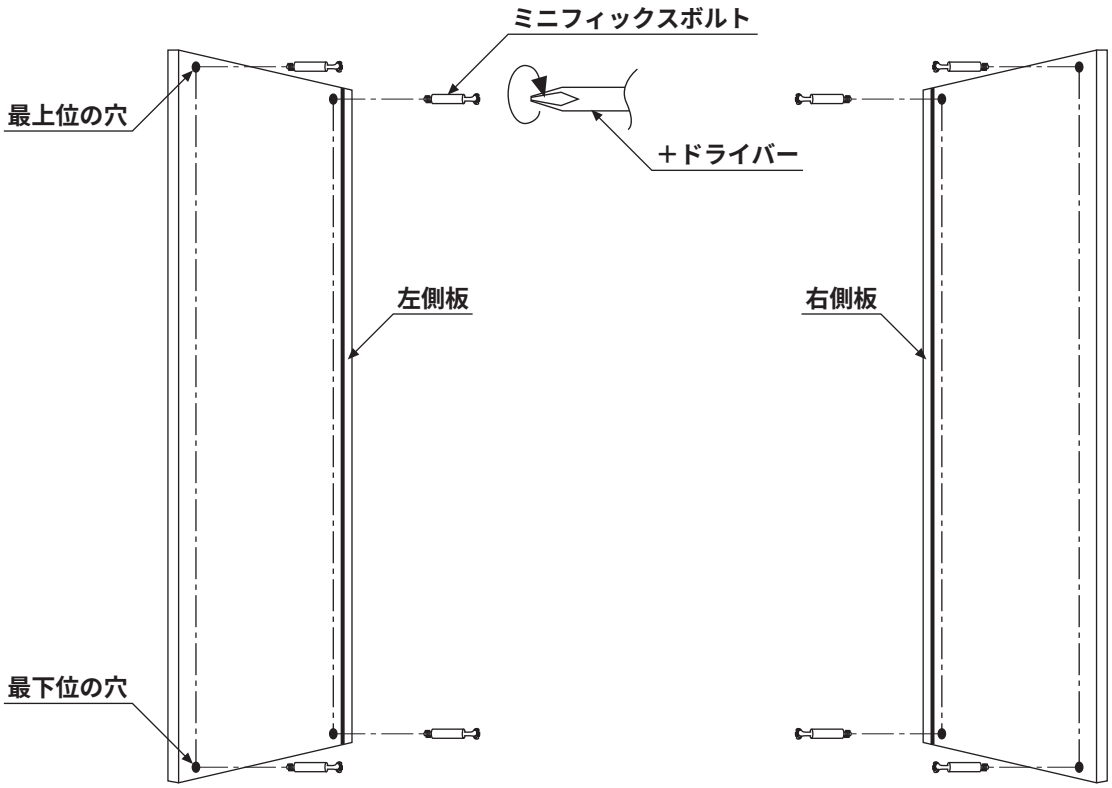
■ミニフィックスボルトの取付け－天板

・天板内面の中央の穴（インサートナットが打ち込んであります）に、中仕切取付用のミニフィックスボルトを＋ドライバーで取付けてください。



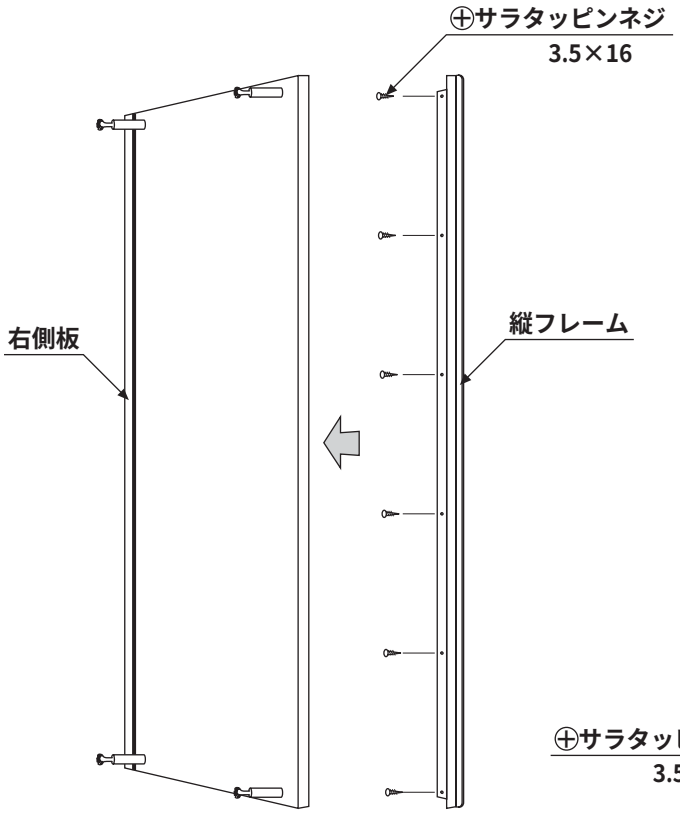
■ミニフィックスボルトの取付け－側板

・側板にあいているダボ穴の最上位と最下位の穴（インサートナットが打ち込んであります）に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを＋ドライバーで取付けてください。

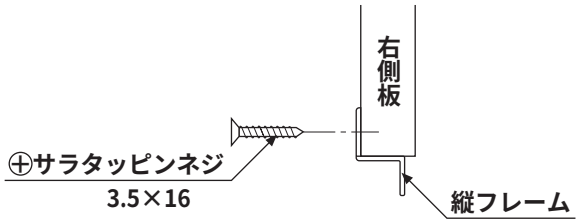


■縦フレームの取付け

・右側板の前面に縦フレームを取付けます。
縦フレームの上端を右側板の上端に揃えて、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16（6 ヶ所）にて右側板に固定してください。

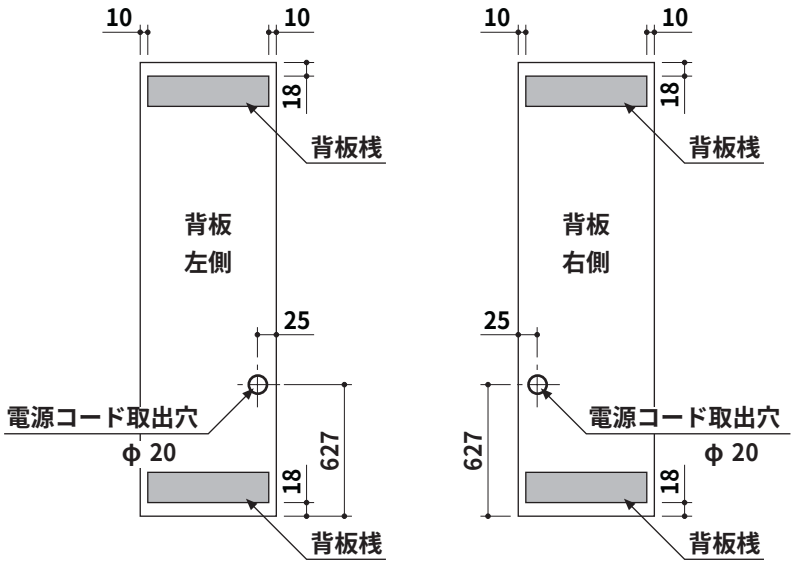


縦フレーム取付断面図



■背板桟の取付け、電源コード取出用の穴開け

・背板に背板桟を、図に示す位置に両面テープで貼り付けてください。
・壁面の取付桟の位置が指定位置でない場合は、取付桟の位置に合わせて背板桟を貼り付けてください。
・MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合、下図の指定位置に電源コード取出用の穴φ 20 をあけてください。



■アジャスターの調整

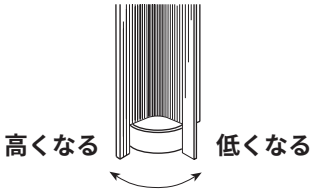
・底板を床面に置いてください。

【MNT ☆ - 90(120) ＊＊＊＊＊＊の場合】（MNT1(5)J2 - 90(120) ＊＊＊＊＊＊以外）

※イラストはアルミＡＦ仕様ですが、その他のＡＦ仕様も同じです。

・手を使い、底板の高さや水平を調整してください。

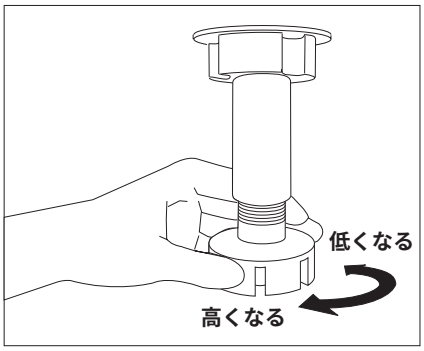
※調整範囲　－0 ～＋10 mm

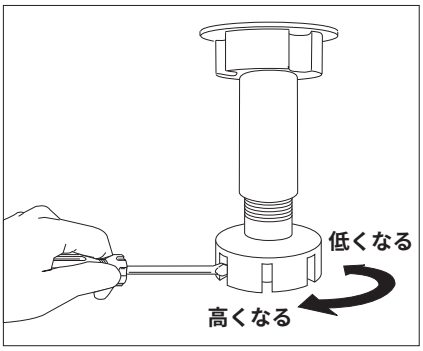


【MNT1(5)J2 - 90(120) ＊＊＊＊＊＊の場合】

・手やドライバーを使い、底板の高さや水平を調整してください。

※調整範囲　－0 ～ ＋15 mm





■中仕切の取付け

・底板に取付けたミニフィックスボルトに、中仕切の下面木口にあいている穴を合わせて、しっかりと差し込んでください。（図１）
（ミニフィックスケーシングに付いている矢印が底板側に向いているか確認してください。）
・中仕切に取付けてあるミニフィックスケーシングを＋ドライバー又は六角ドライバーにて、図２のように締め付けてください。

図１

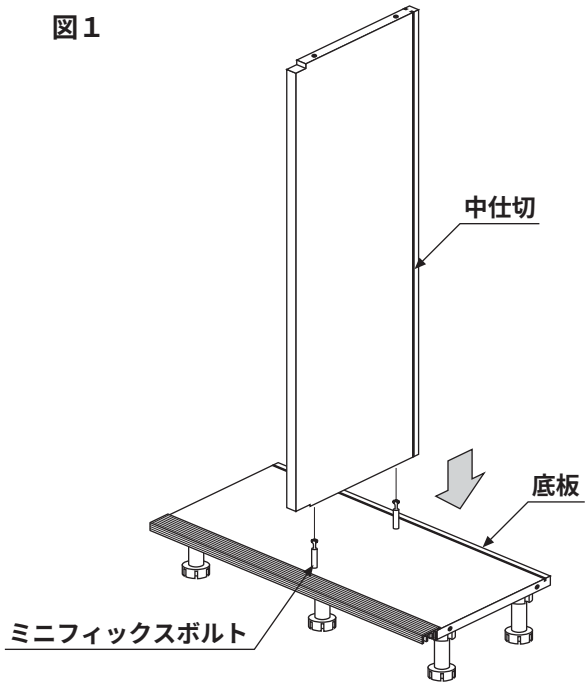
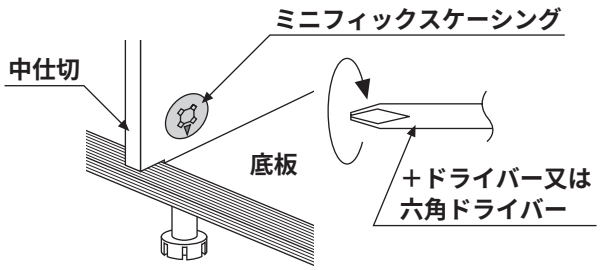
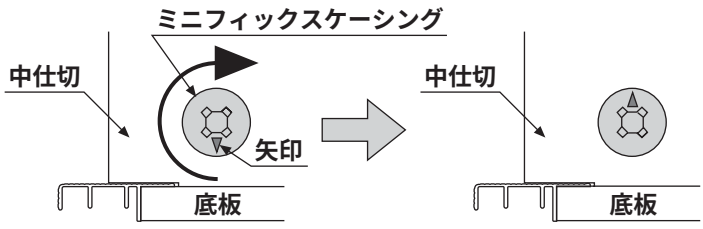


図２





右に180 ° 回す　　固定

■天板の取付け

・天板に取付けたミニフィックスボルトに、中仕切の上面木口にあいている穴を合わせて、しっかりと差し込んでください。（図３）
（ミニフィックスケーシングに付いている矢印が天板側に向いているか確認してください。）
・中仕切に取付けてあるミニフィックスケーシングを＋ドライバー又は六角ドライバーにて、図４のように締め付けてください。

図３

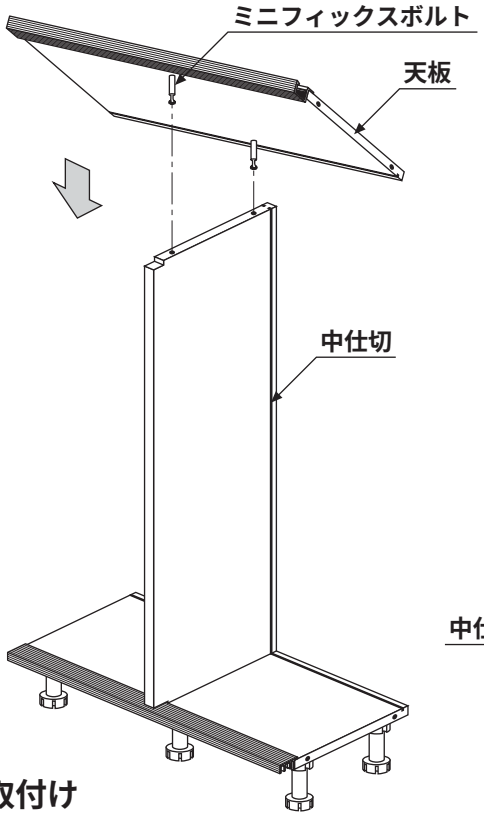
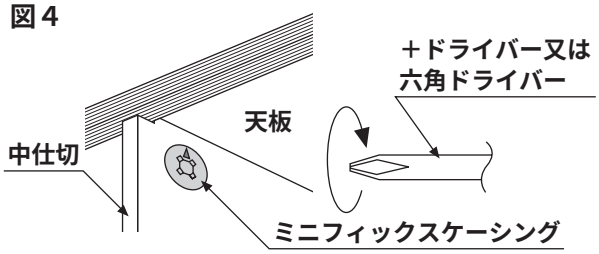
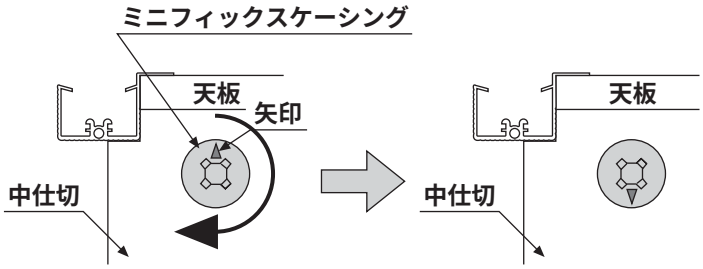


図４



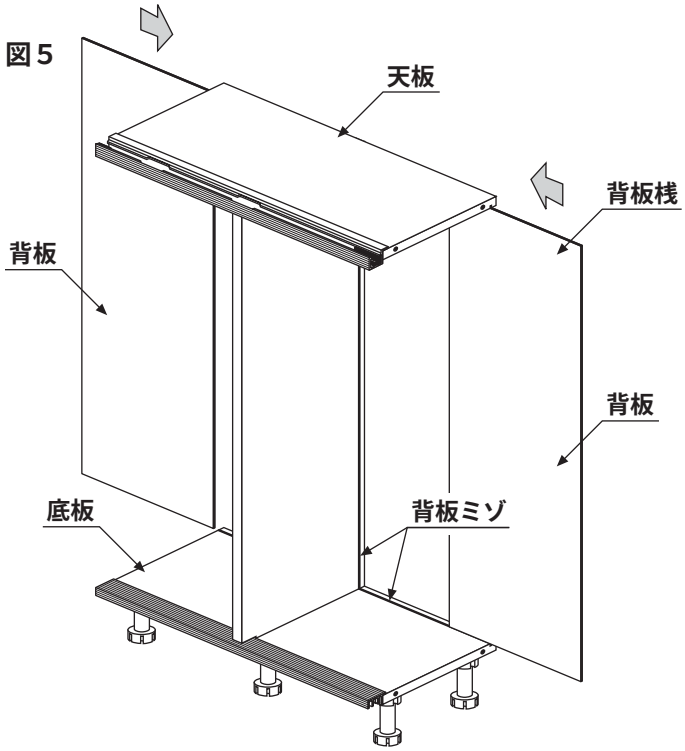


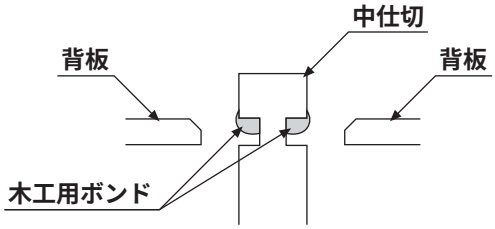
右に180 ° 回す　　固定

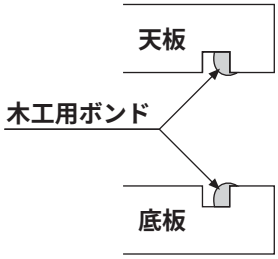
■背板の取付け

・底板、天板、中仕切の背板ミゾに木工用ボンドを塗布してください。
※背板を差し込んだときに、ユニット内部へ木工用ボンドがはみ出ない程度に塗布してください。
はみ出した木工用ボンドは、湿った布で拭き取ってください。
・底板と天板の後部のミゾに背板を差し込んで滑らせるようにして移動させ、中仕切の後部のミゾへしっかりと差し込んでください。（図５）

図５







■側板の取付け

・側板の背板ミゾに木工用ボンドを塗布してください。
※側板を差し込んだときに、ユニット内部へ木工用ボンドがはみ出ない程度に塗布してください。
はみ出した木工用ボンドは、湿った布で拭き取ってください。
・側板に取付けたミニフィックスボルトに、天板と底板の側面木口にあいている穴を合わせて、しっかりと差し込んでください。（図６）
（ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。）
・天板と底板に取付けてあるミニフィックスケーシングを＋ドライバー又は六角ドライバーにて図のように締め付けてください。（図７・８）

図６

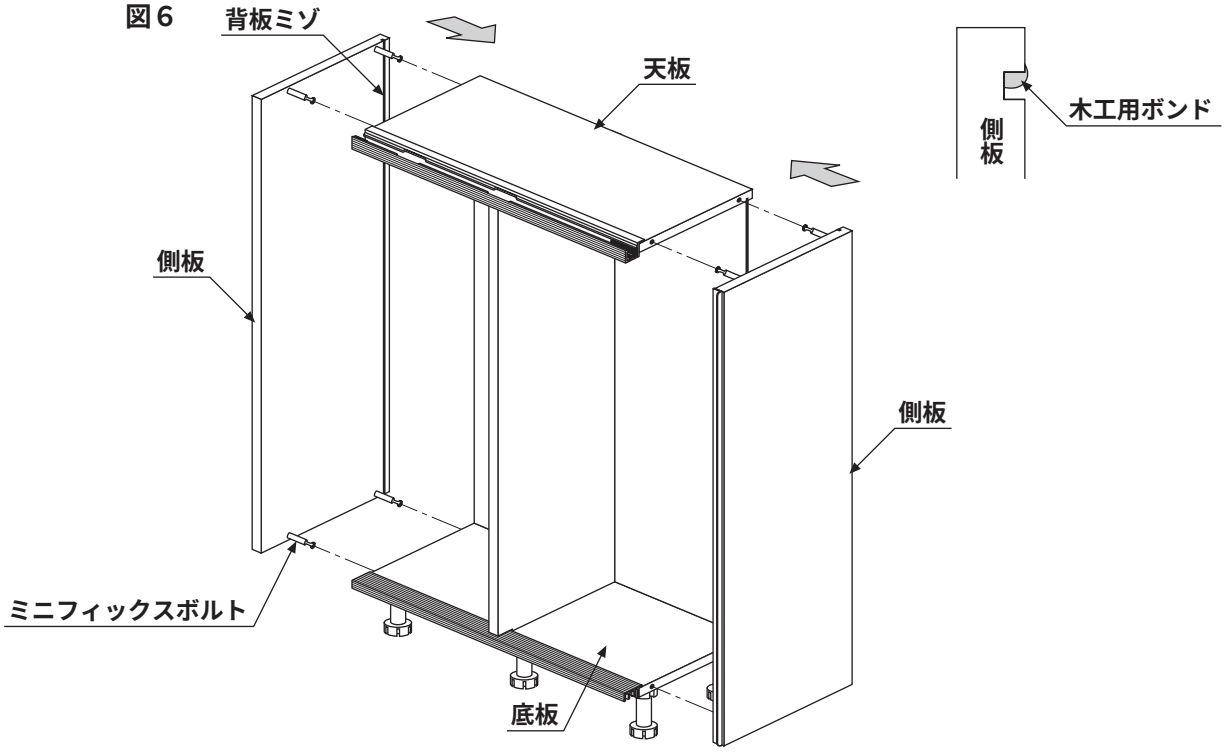


図７

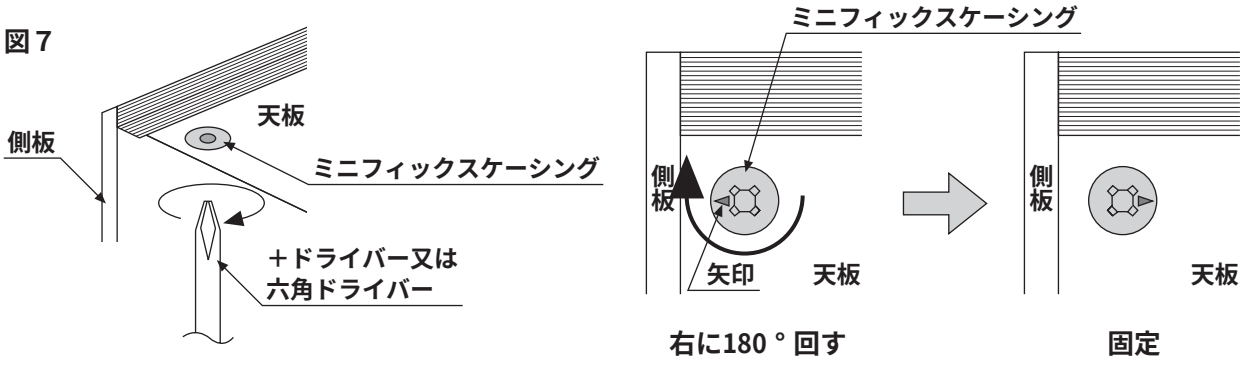
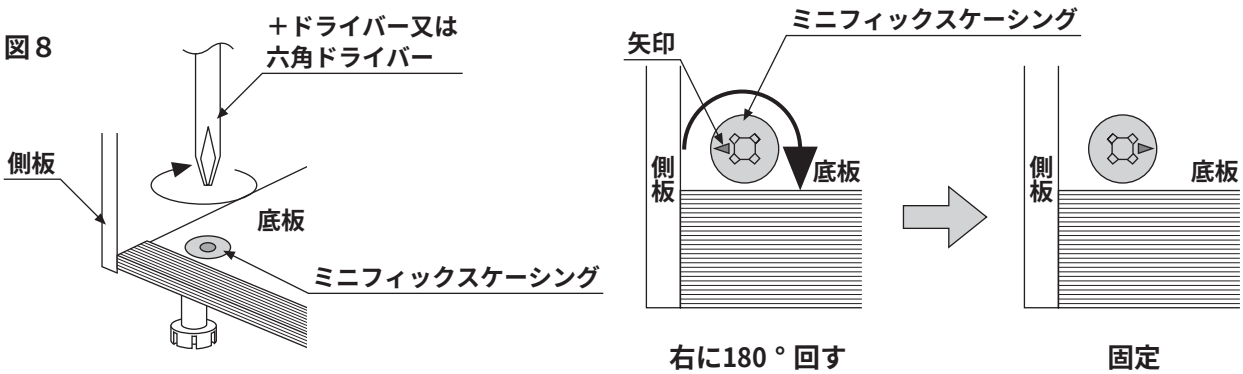
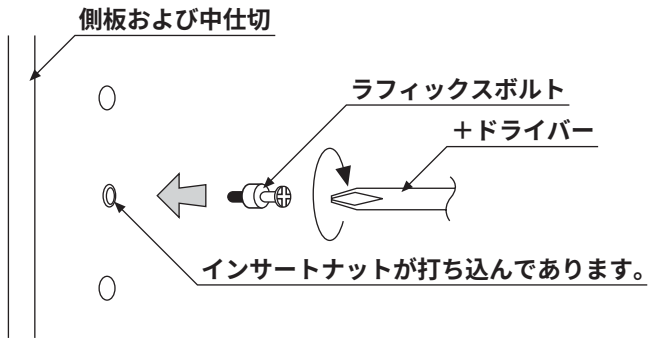


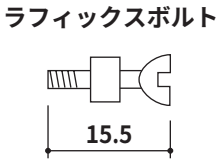
図８



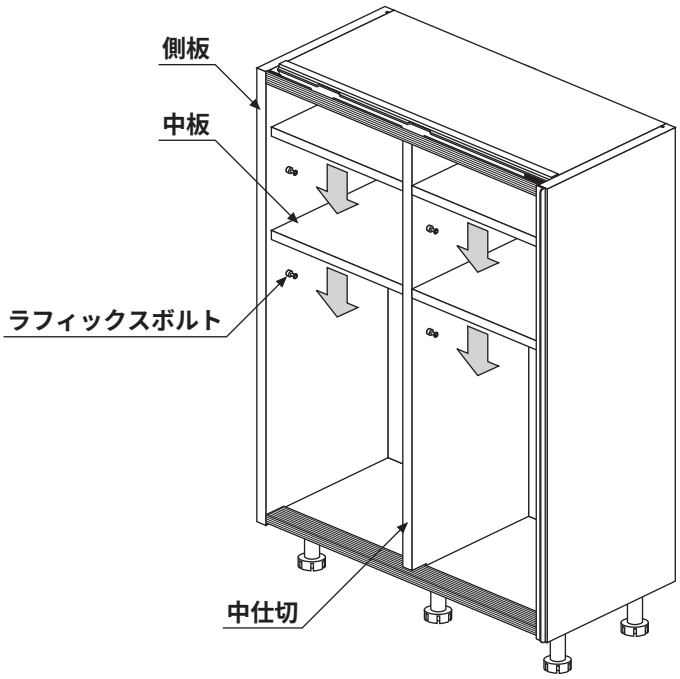
中板の取付け

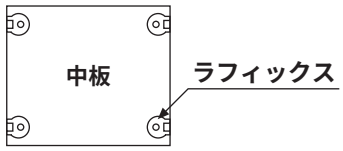
・側板と中仕切の中板取付位置にラフィックスボルトを取付けます。
・取付位置にはインサートナットが打ち込んであります。



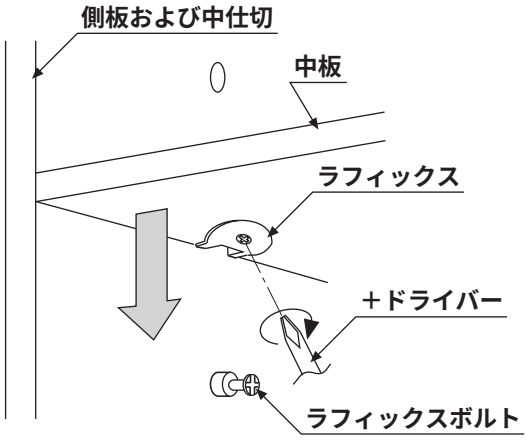


・側板と中仕切に取付けたラフィックスボルトに、中板に取付けてあるラフィックスの穴を合わせて、中板を落とし込んでください。
・ラフィックスのネジを＋ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。

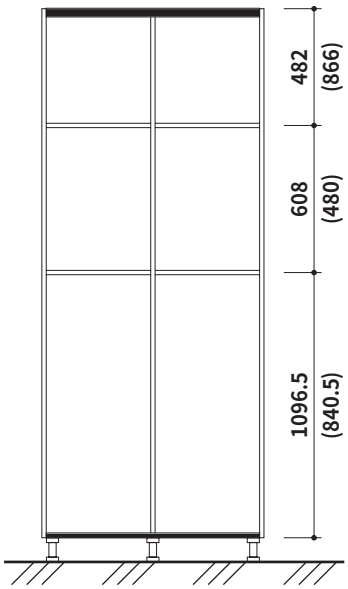




中板にはラフィックスが４ヶ所に
付いています。（白い樹脂製の部品）



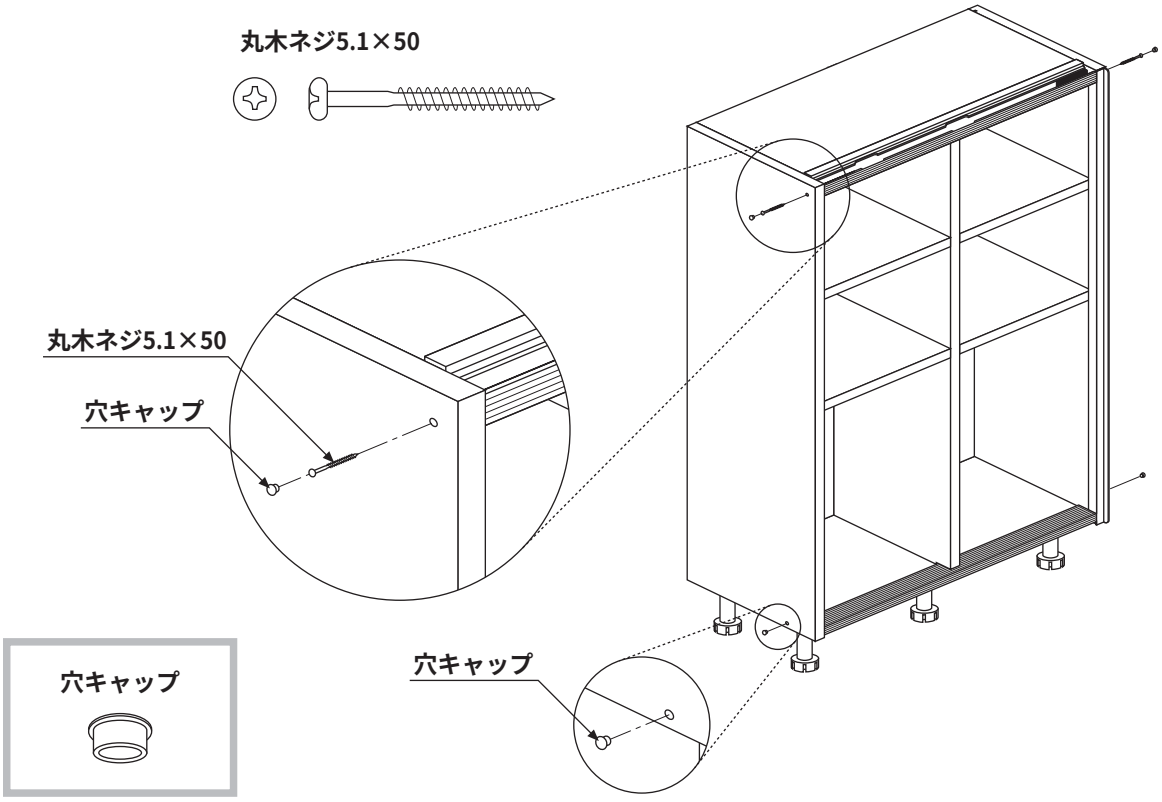
中板取付位置



※（　）内寸法は、MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合を示す。

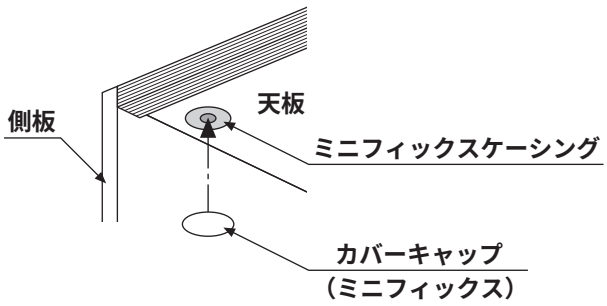
上フレームの固定、穴キャップの取付け

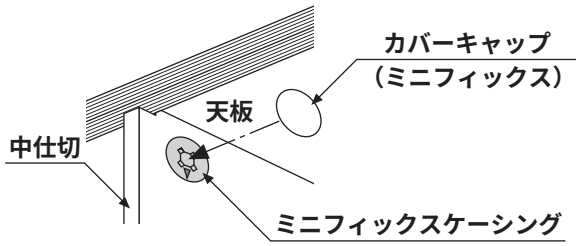
・側板にあいている穴より、丸木ネジ 5.1 × 50 にて上レールを固定してください。
・固定が終わりましたら、固定穴を穴キャップにてふさいでください。
・側板の下側にあいている穴を穴キャップにてふさいでください。

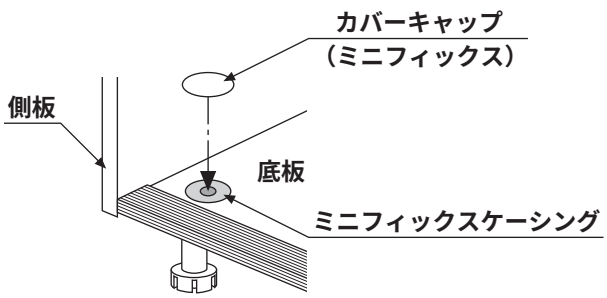


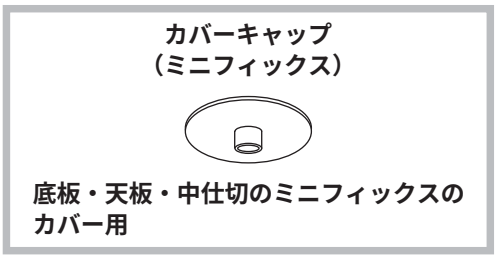
カバーキャップの取付け

・天板、底板、中仕切のミニフィックスケーシングにカバーキャップ（ミニフィックス）を取付けてください。









引き戸の取付け

※引き戸を取付ける前に、引き戸のフレームの直角、固定ネジのゆるみ、ローラー金具の取付ネジのゆるみが無いか確認してください。

■引き戸（L）の取付け

・引き戸（L）を持ち上げ、ローラーを上レールの切り欠き部に合わせて手前のレール部分に乗せます。（図1・2・3）

※引き戸（L）を左右にスライドさせ、ローラーがレールにはまっているか確認してください。

・引き戸（L）の下側にスライディングブロックを取付けます。（図4）
引き戸（L）の角とスライディングブロックの角を合わせて、下側から⊕サラタッピンネジ3.5×13にて引き戸（L）の両端に取付けます。（図5）

※スライディングブロックを取付ける前に、一度ネジを通しておくと取付けやすくなります。

※引き戸に傾きが無いか、スライディングブロックが引き戸にしっかり取付いているか確認してください。

図1

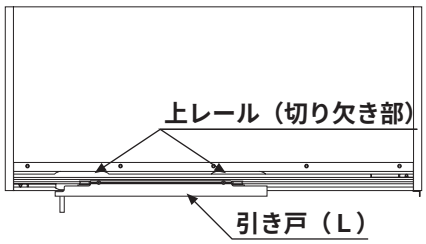


図2

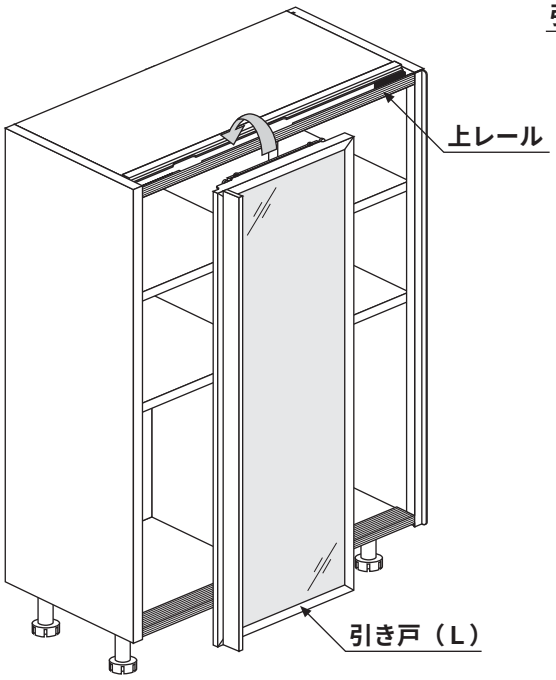


図3

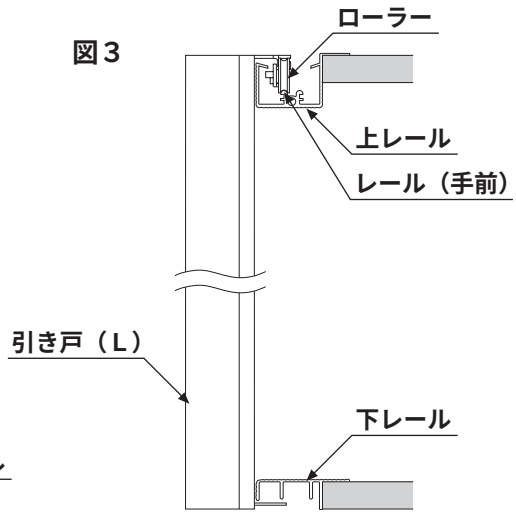


図4

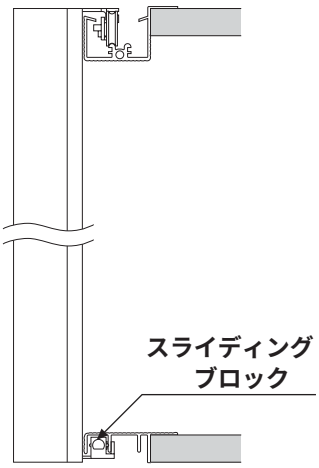
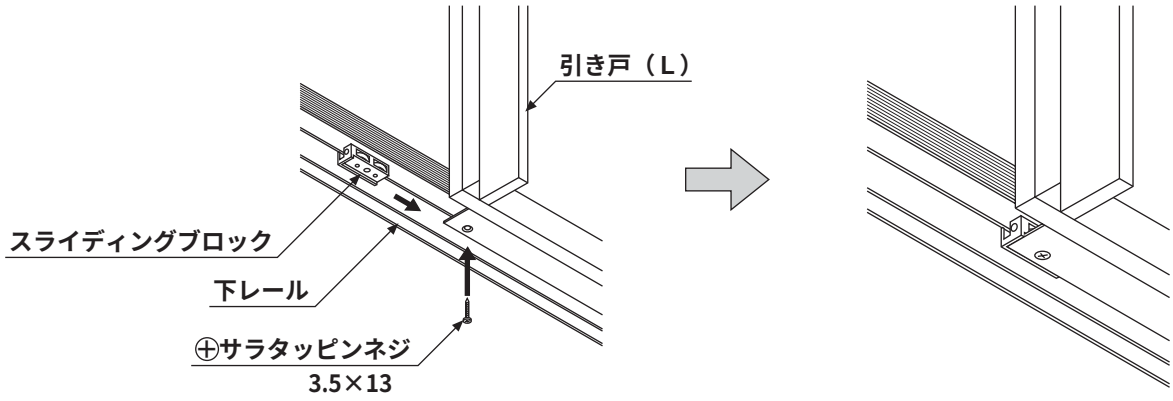


図5



■引き戸（R）の取付け

・引き戸（R）を持ち上げ、ローラーを上レールの切り欠き部に合わせて奥側のレール部分に乗せます。（図６・７・８）
・引き戸（R）を閉まりかけの状態までスライドさせ、引き戸（L）と重なった部分の下側を持ち、下へ広げながら引き戸（L）に覆い被せます。（図９）
※引き戸（R）を左右にスライドさせ、ローラーがレールにはまっているか確認してください。
・引き戸（R）の下側にスライディングブロックを取付けます。（図１０）
引き戸（R）の角とスライディングブロックの角を合わせて、下側から⊕サラタッピンネジ3.5×13にて引き戸（R）の両端に取付けます。（図１１）
※スライディングブロックを取付ける前に、一度ネジを通しておくと取付けやすくなります。
※引き戸に傾きが無いか、スライディングブロックが引き戸にしっかり取付いているか確認してください。

図６

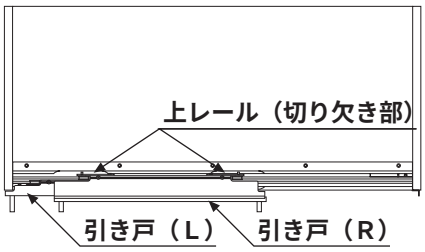


図７

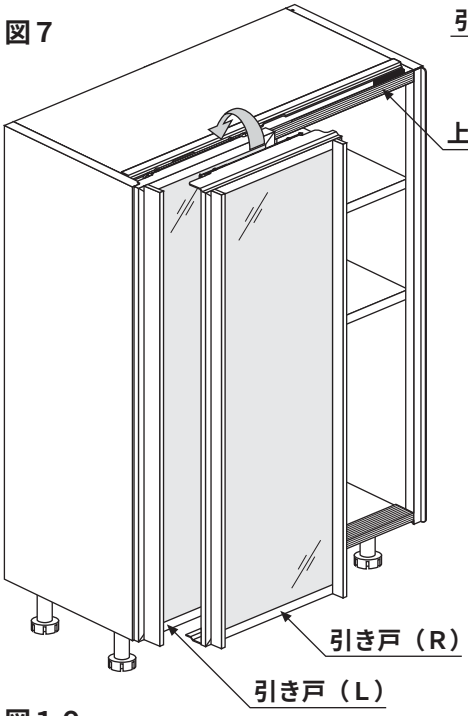


図８

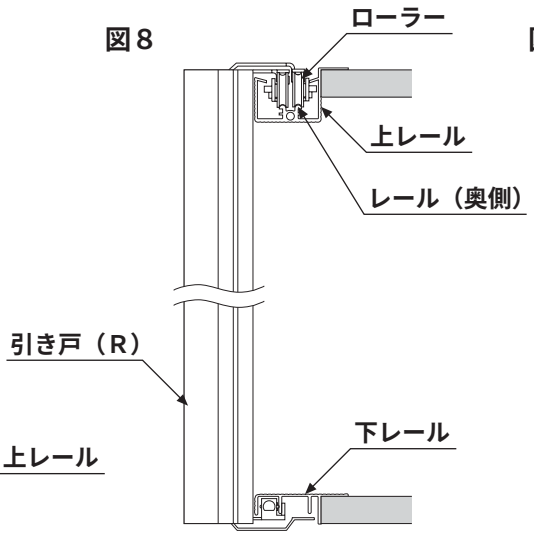
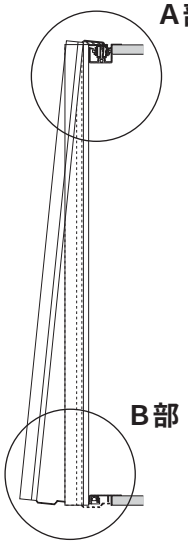
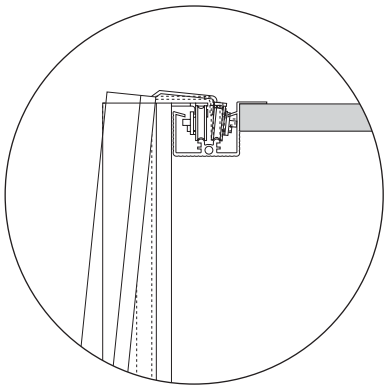


図９



A部拡大詳細図



B部拡大詳細図

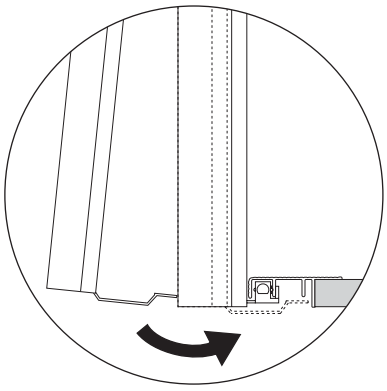


図１０

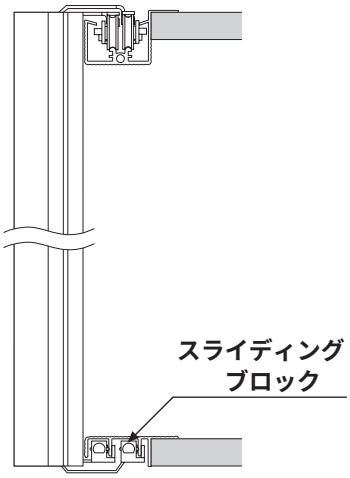
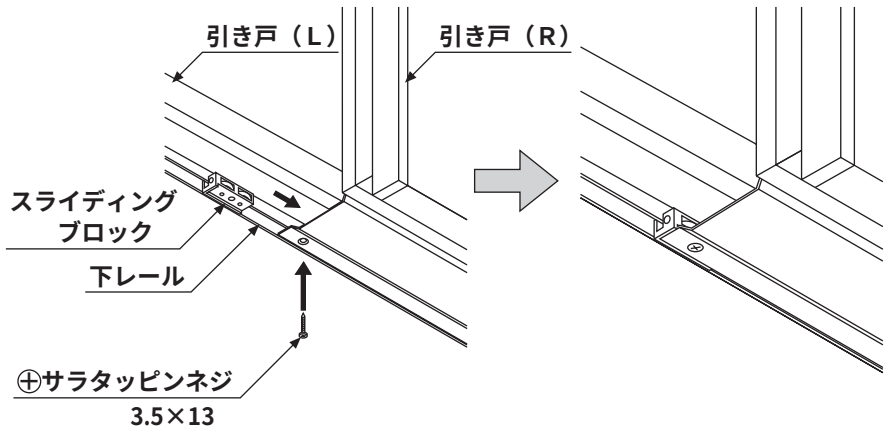


図１１



引き戸の調整

・引き戸を取付け後、なめらかな開閉をしない場合は、まず本体の歪みをチェックし、本体と壁との間にパッキン等を入れて歪みを直します。
・その他の原因としては、図１に示すように引き戸の上部ａ部、下部ｂ部の角度が悪く、ｃ部に余裕が無いために起こる場合があります。このような場合は図２のようにスライディングブロックのネジを外し、引き戸を取り外し、ａ部、ｂ部の角度を調整してください。
・引き戸を取付ける時は、スライディングブロックの左右を間違えないように取付けてください。
・引き戸上面にある調整ネジを六角レンチ（３㎜）にて回し、引き戸の水平を調整してください。（図３）
・左右の引き戸とユニット側板のチリをチェックします。図４に示すようにチリは２㎜とし、前後の引き戸の枠が重なり合うように、図５の樹脂製ストッパーのネジを＋ドライバーでゆるめ、チリが２㎜になるように移動させ、締め付けてください。

図１

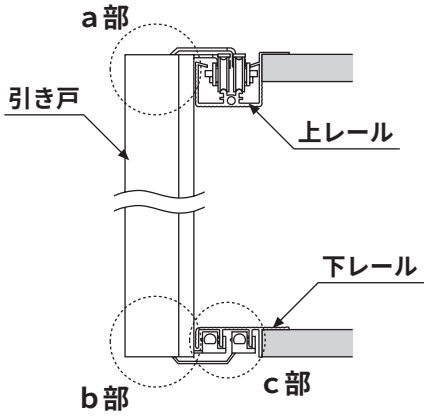


図２

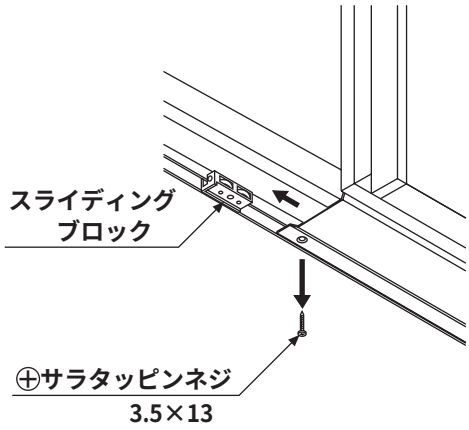
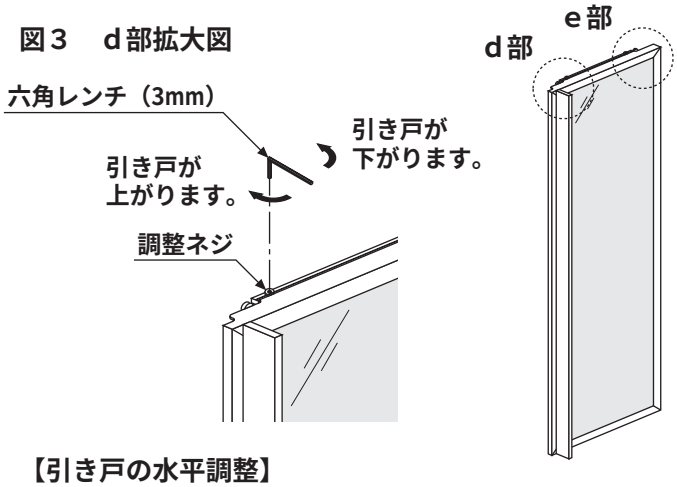


図３　ｄ部拡大図



【引き戸の水平調整】

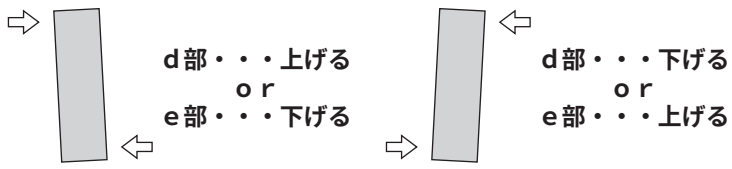


図４

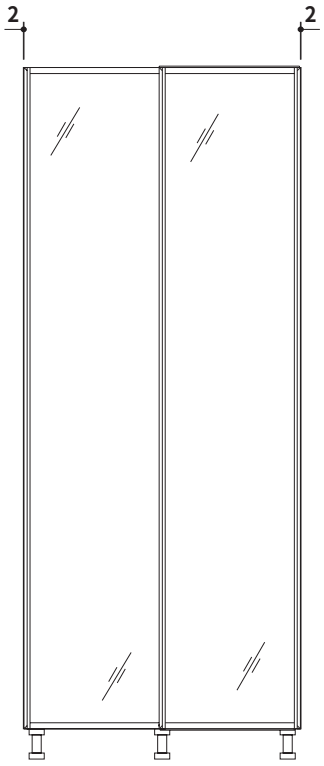
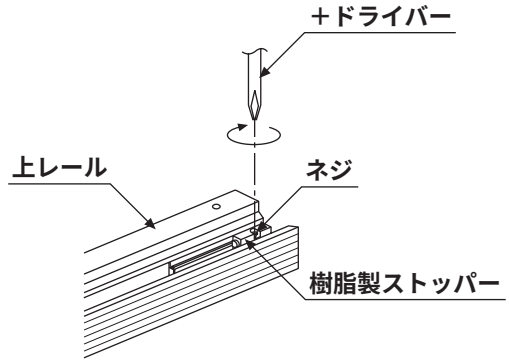


図５



ユニット本体の固定

警告

スライドドア収納庫の据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

転倒して、ケガをする恐れがあります。

・ユニット本体を固定する前に、ユニットのレベル調整を必ず行ってください。
・ユニット内側から図に示す位置に下穴φ 4.6〜5.0 をあけ、ヘッドキャップ木ネジ 4.5 × 50 にて壁面に固定してください。（図１・図２）
・ヘッドキャップカバーを取付けてください。
※ユニットを壁面に固定した後、再度引き戸の調整を行ってください。
調整が終わりましたら、引き戸（ＲＬ各２ヶ所　合計４ヶ所）と上レール（２ヶ所）のネジがゆるまないように、ネジロック（推奨品：Three Bond　１４０１Ｂ）等で接着固定してください。（図３）

図１

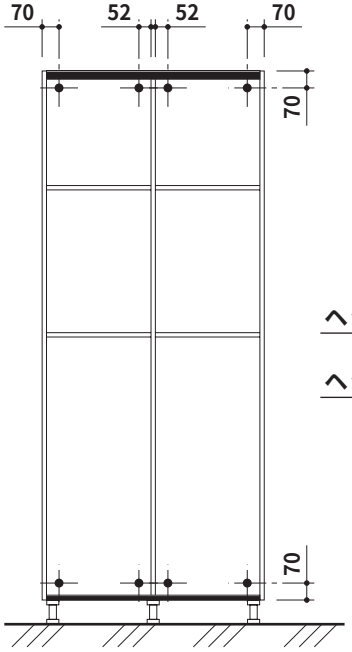


図２

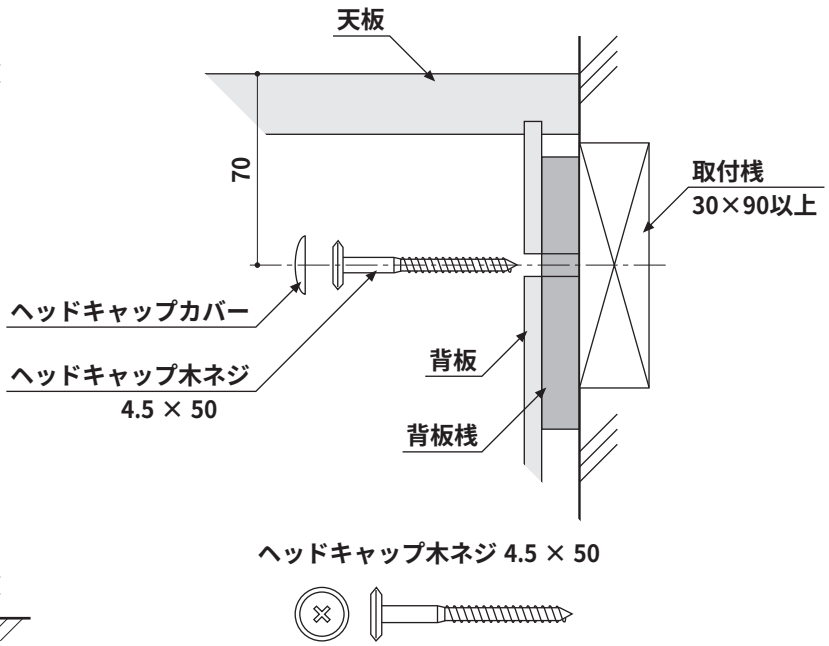
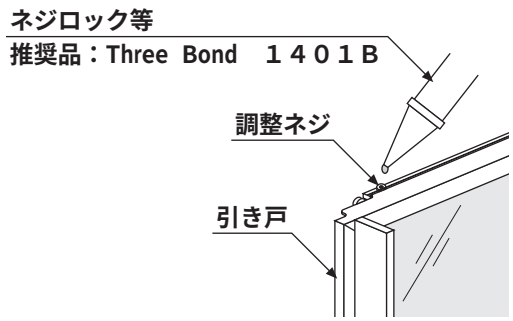
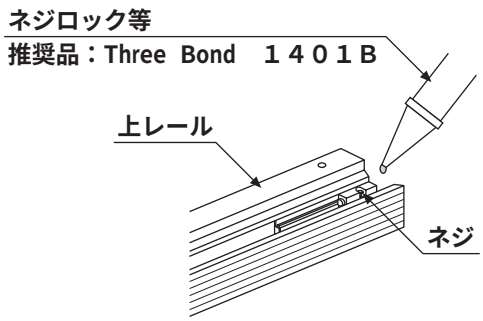


図３

【引き戸】



【上レール】

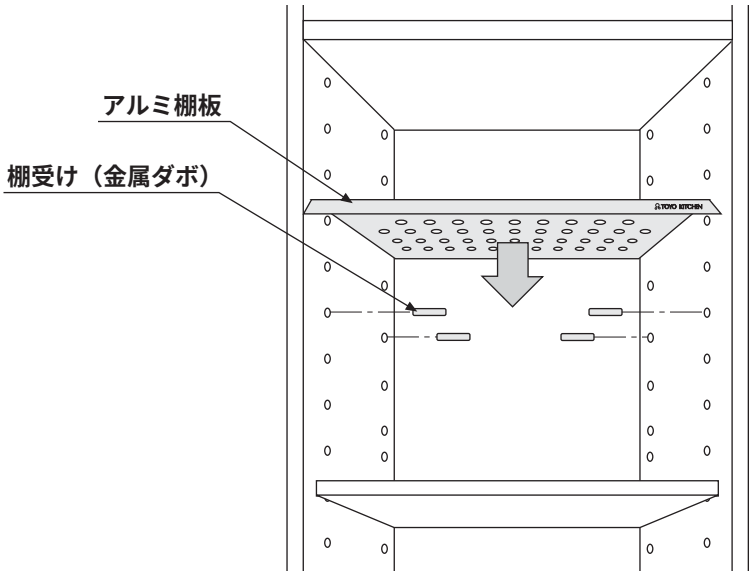


※ユニットを連結する場合は、「ＢＡＹ／Ｂ－ＢＡＹ／Ｆ－ＢＡＹ　据付工事説明書」または「ｆｏｏ　据付工事説明書」に準ずる。

インナーパーツの取付け

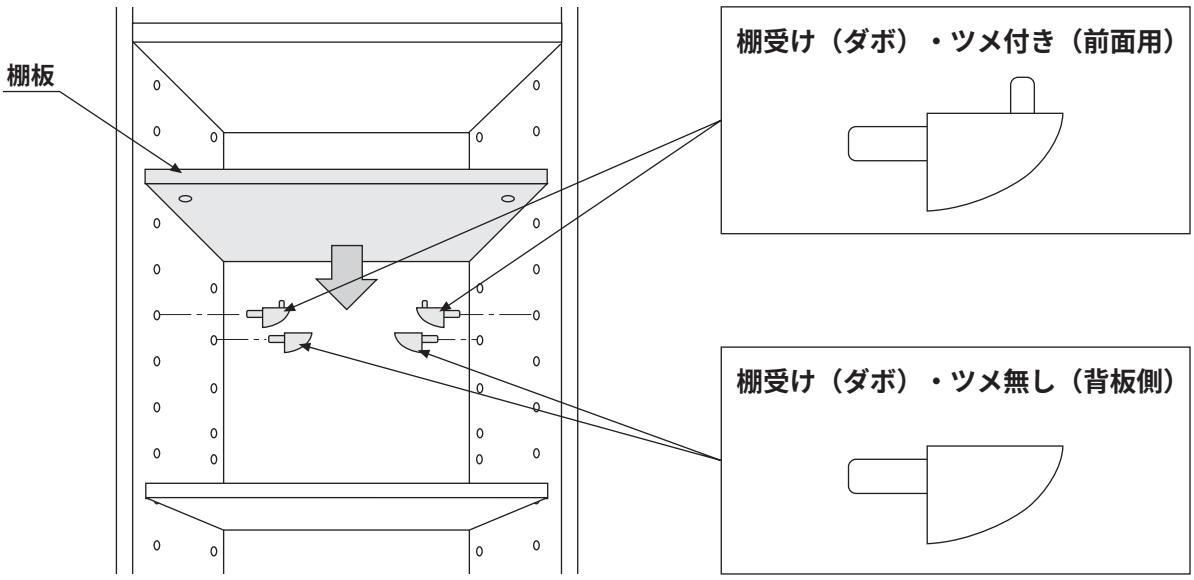
■アルミ棚板の取付け【MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊、MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

・側板の任意の穴位置に棚受け（金属ダボ）を差し込んでください。
・アルミ棚板を棚受け（金属ダボ）に乗せてください。
・アルミ棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



■棚板の取付け【MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊、MNT1J2 - 90(120)AHKSG、MNT ☆ - 90(120)TNS ＊の場合】

・側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込んでください。
　取付け詳細は下図のように前面にツメ付きダボ、背板側にツメ無しダボを差し込んでください。
・棚板を棚受け（ダボ）に乗せてください。
・棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。

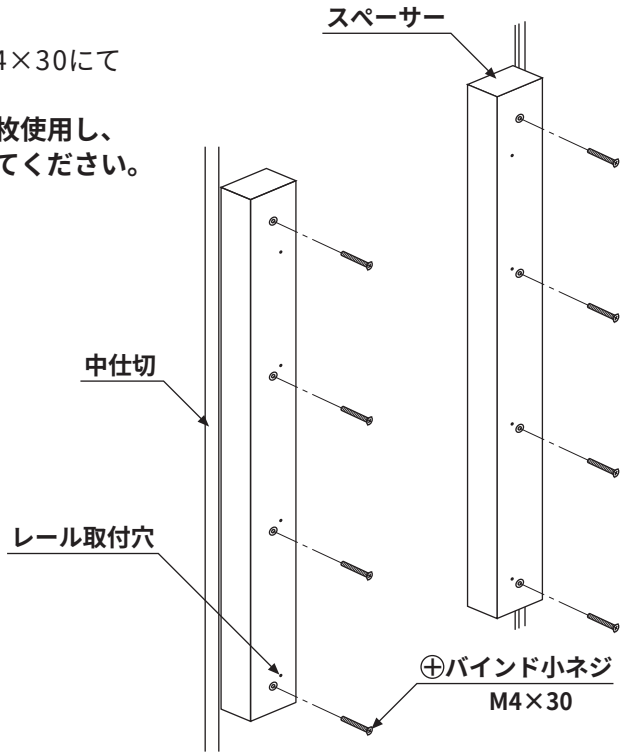


■内装引出しの取付け【MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊、MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

スペーサーの取付け

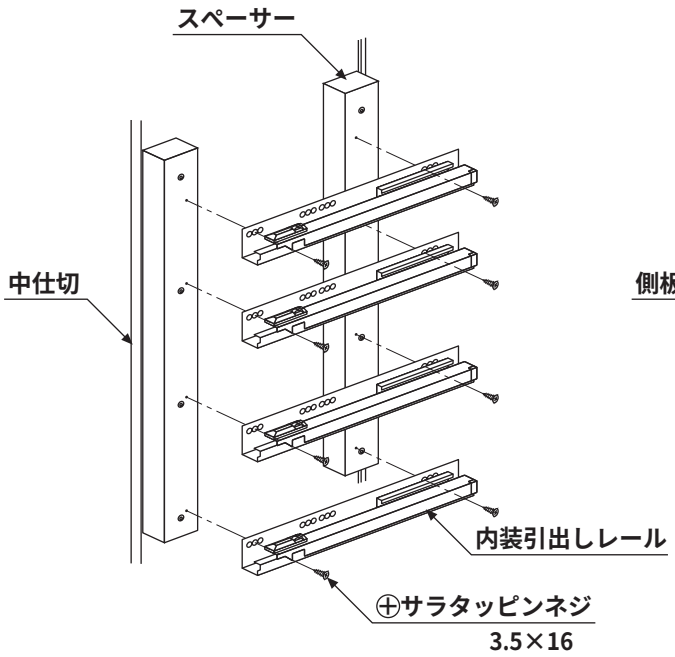
・中仕切の指定位置に⊕バインド小ネジM4×30にて
スペーサーを取付けます。

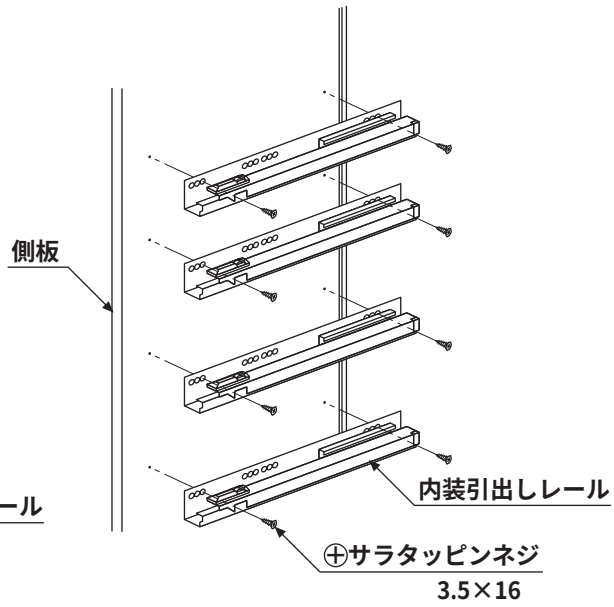
**※中仕切の片面でスペーサーのＲＬを各１枚使用し、
レール取付穴が内側にくるように取付けてください。**



内装引出しレールの取付け

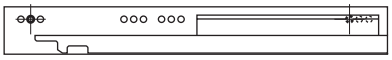
・中仕切のスペーサーに内装引出しレールを⊕バインドタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。
・側板の指定位置に内装引出しレールを⊕バインドタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。





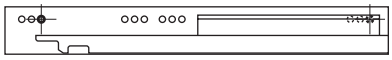
【レール取付穴】

中仕切の場合



※図はＬを示し、Ｒは図と対称とする。

側板の場合



※図はＬを示し、Ｒは図と対称とする。

内装引出しの取付け

・内装引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図１）
・内装引出しレールの上に内装引出しを乗せてください。（図２）
・内装引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引出しレールに固定します。（図３）

図１

図２

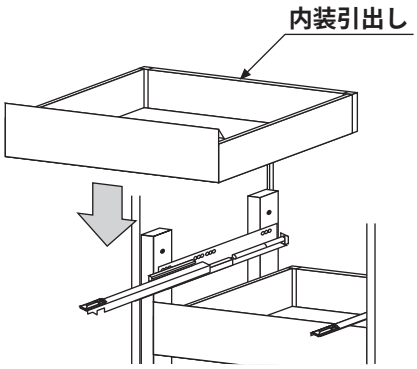
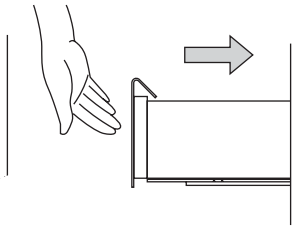


図３



クロスギャラリーの取付け（※ MNT ☆ - 90(120)HCATS ＊の内装引出し（深型）用オプション）

・クロスギャラリーのネジをゆるめます。（図１）
・内装引出し（深型）のギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。（図２、図３）
・クロスギャラリーのネジを締めます。（図１）

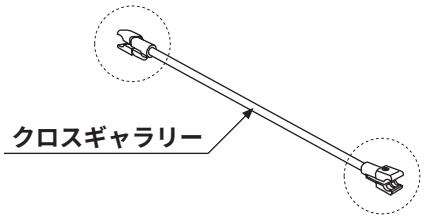


図１

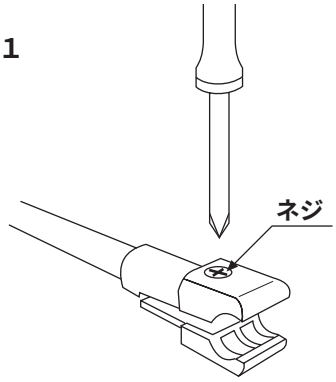


図２

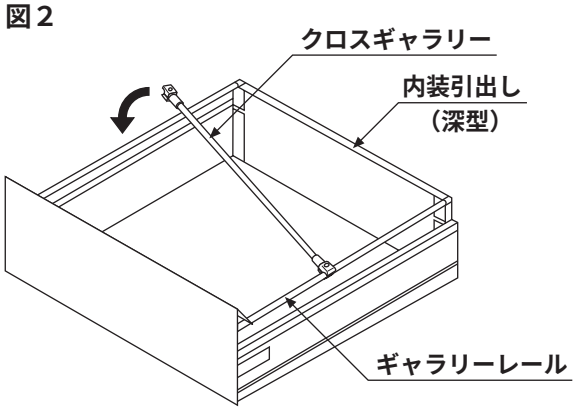
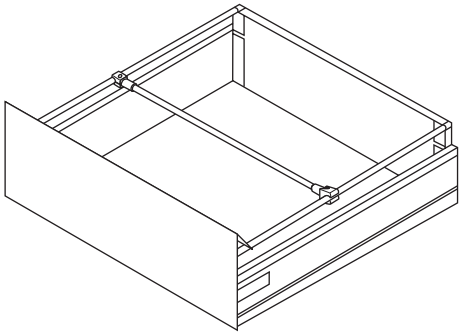
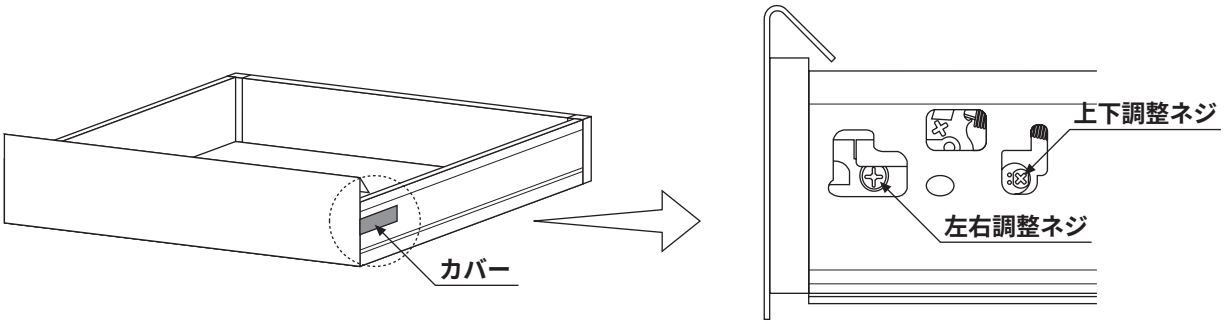


図３



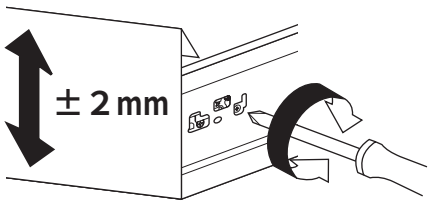
内装引出し前板の調整

・内装引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
・調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



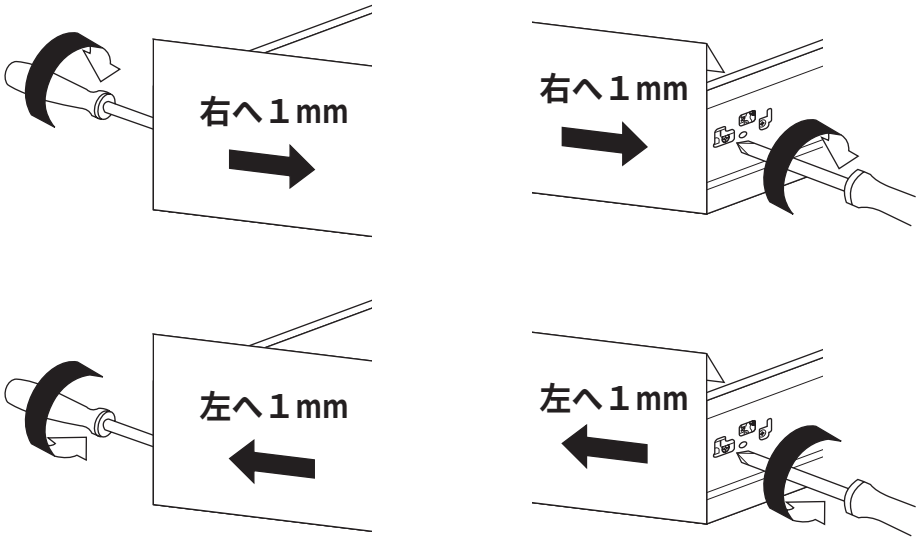
［上下方向の調整］

・上下調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の上下方向を調整します。
・±２mm調整できます。



［左右方向の調整］

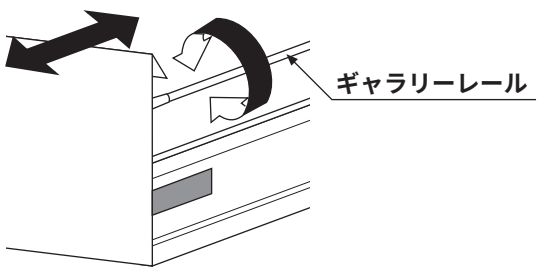
・左右調整ネジを＋ドライバーで回して、内装引出し前板の左右方向を調整します。
・±１mm調整できます。



［前板の傾き調整］

※MNT ☆‐90(120)HCATS ＊の内装引出し（深型）のみ調整できます。

・ギャラリーレールを回して、内装引出し前板の傾きを調整します。



■スライドボード、内装引出しの取付け【MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

スライドコンセントの取付け

・事前に壁出ししておいた電源コードを背板の電源コード取出穴からユニット内に引き込み、スペーサーの背面からスライドコンセント取付穴へ通します。（図１）

※スペーサーは中仕切の右面にＲタイプ、左面にＬタイプを使用し、スライドコンセント取付穴が背板側にくるようにしてください。

・スライドコンセントに付属のＰＣ接続端子を電源コードの先に取付け、スライドコンセントと電源コードのＰＣ接続端子を接続します。　（図２）

・スライドコンセントを取付穴に差し込み、電源コードがスペーサー内でたるまないように余分な電源コードは背板の電源コード取出穴へ戻してください。（図２）

図１

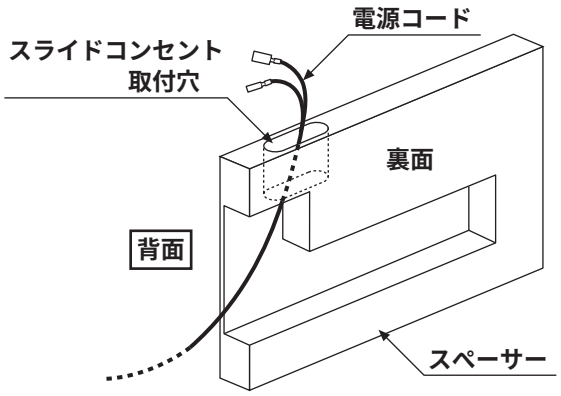
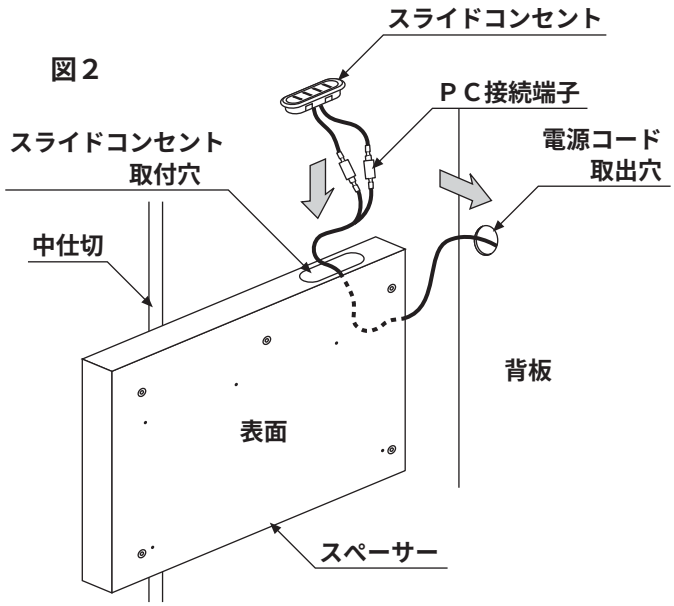


図２

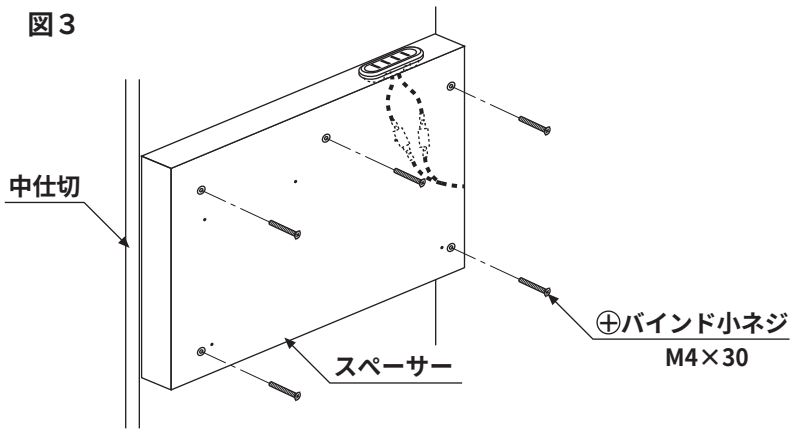


スペーサーの取付け

・中仕切の指定位置に⊕バインド小ネジM4×30にてスペーサーを取付けます。（図３）

※スペーサーを取付けるときに、電源コードがスペーサーと中仕切につぶされて断線しないように注意してください。

図３



スライドボード、内装引き出しレールの取付け

・中仕切のスペーサーにスライドボードレールを⊕バインドタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。（図４）

・側板とスライドボードレールの間にワッシャーを入れ、側板の指定位置にスライドボードレールを⊕バインドタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。（図５）

・中仕切のスペーサーに内装引出しレールを⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。（図４）

・側板の指定位置に内装引出しレールを⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。（図５）

図４

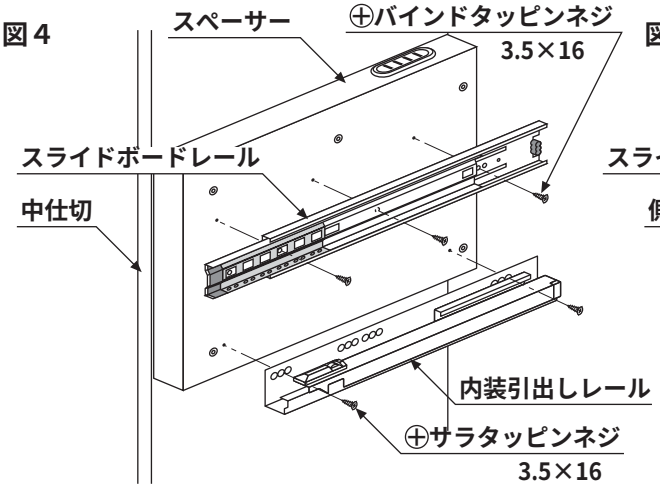
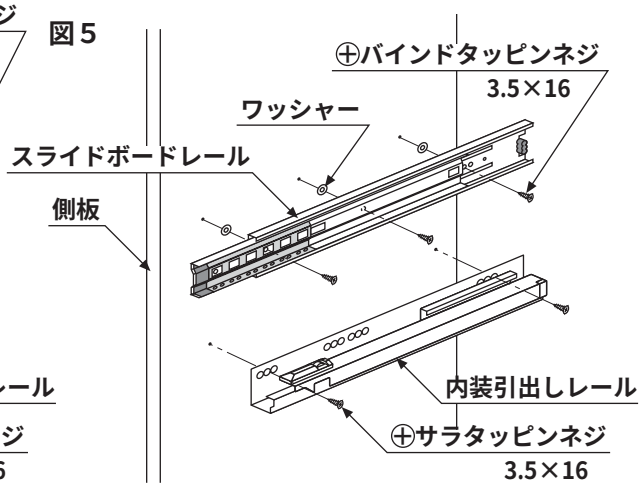
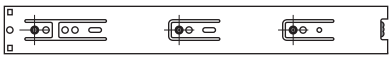


図５

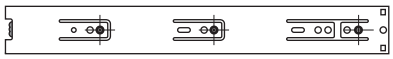


【スライドボードレール取付穴】

左側に取付ける場合

扉側  **背板側**

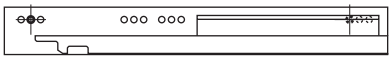
右側に取付ける場合

背板側  **扉側**

※スライドボードレールにはＲＬが無いため、１８０度回転させて左右共通でレールを使用してください。

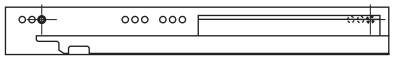
【内装引出しレール取付穴】

中仕切の場合

扉側  **背板側**

※図はＬを示し、Ｒは図と対称とする。

側板の場合

扉側  **背板側**

※図はＬを示し、Ｒは図と対称とする。

内装引出しの取付け

・内装引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図６）
・内装引出しレールの上に内装引出しを乗せてください。（図７）
・内装引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引出しレールに固定します。（図８）

図６

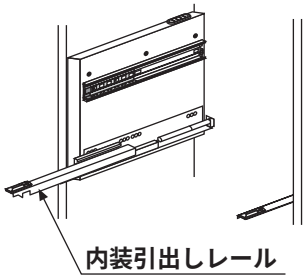


図７

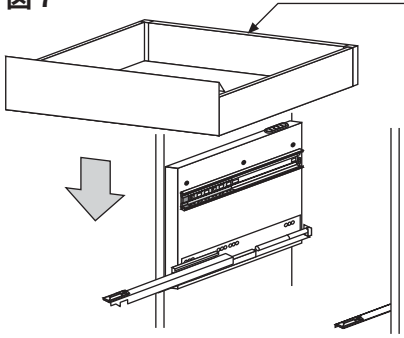
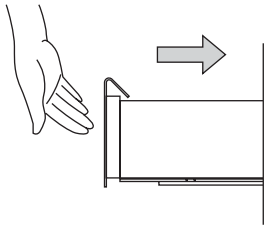


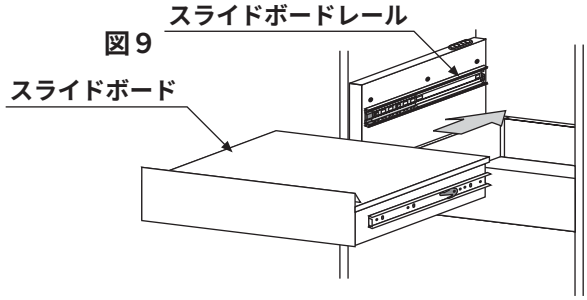
図８



スライドボードの取付け

・ユニット本体に取付いているスライドボードレールに、スライドボード本体のレールを差し込むようにスライドさせて取付けてください。（図９）

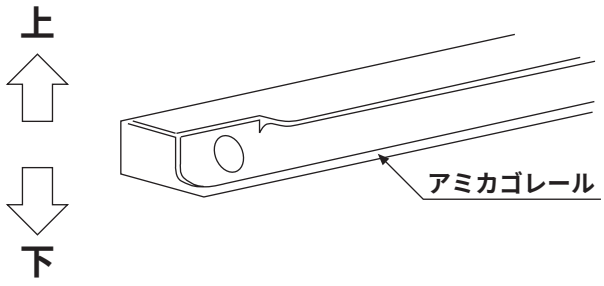
図９

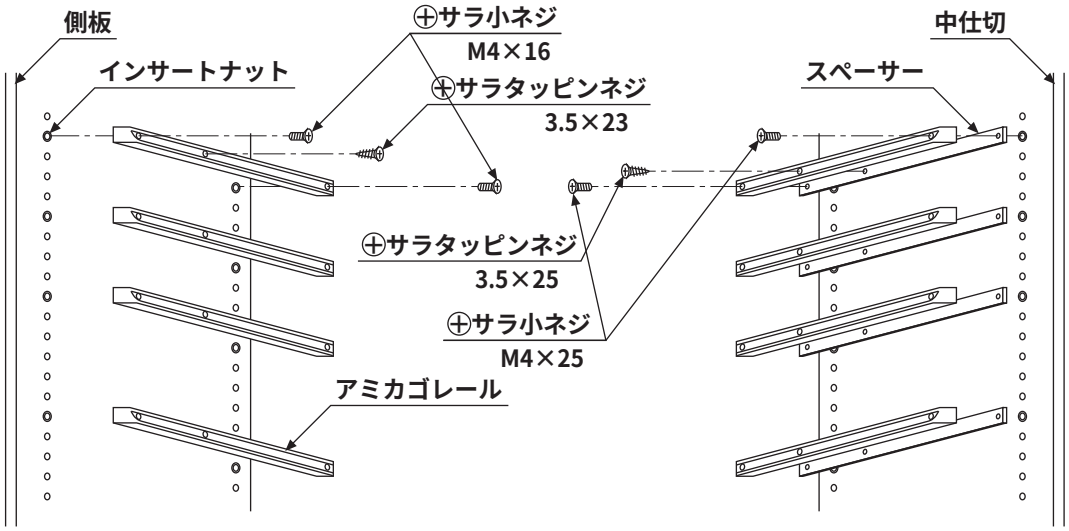


■アミカゴの取付け【MNT1J2‐90(120)AHKSG の場合】

アミカゴレールの取付け

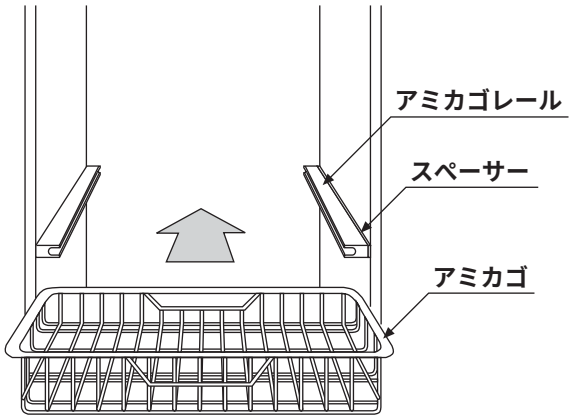
・側板にはアミカゴレールの前後の穴より⊕サラ小ネジM4×16にて取付けてください。
　中央の穴より⊕サラタッピンネジ3.5×23にて固定してください。
・中仕切には中仕切とアミカゴレールの間にスペーサーをはさみ、前後の穴より⊕サラ小ネジM4×25にて取付けてください。
　中央の穴より⊕サラタッピンネジ3.5×25にて固定してください。
・取付位置にはインサートナットまたは、インサートスリーブが打ち込んであります。





アミカゴの取付け

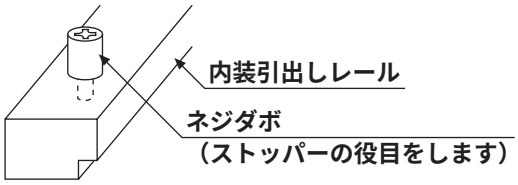
・左右のアミカゴレールを取付けた後、アミカゴをアミカゴレールに差し込んでください。

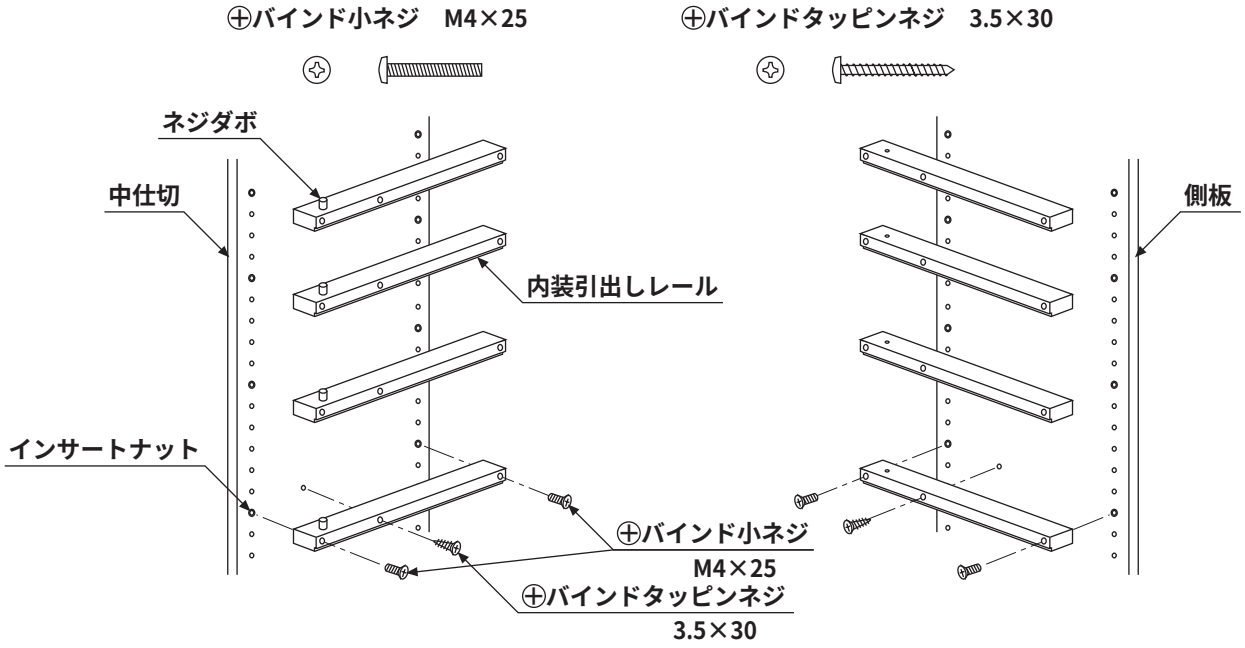


■内装引出しの取付け【MNT1J2‐90(120)AHKSGの場合】

内装引出しレールの取付け

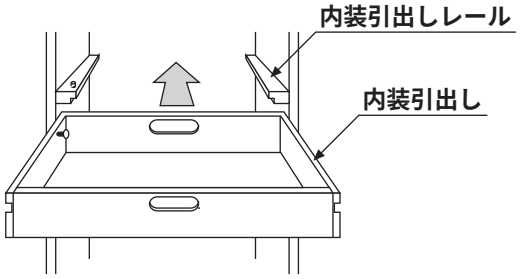
・内装引出しレール４本にネジダボを取付けてください。
・ネジダボ付きの内装引出しレールを中仕切に、何もついていない内装引出しレールを側板に取付けてください。
内装引出しレールの前後の穴より⊕バインド小ネジM4×25にて取付けてください。
取付位置にはインサートナットが打ち込んであります。
・内装引出しレールの中央の穴より⊕バインドタッピンネジ3.5×30にて固定してください。





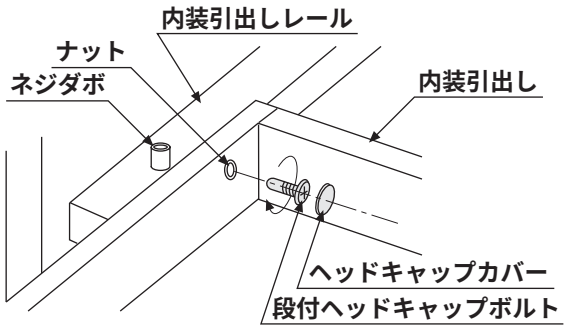
内装引出しの取付け

・左右の内装引出しレールを取付けた後、内装引出しを内装引出しレールに差し込んでください。



内装引出し用ストッパー

・内装引出しのナット部へ段付ヘッドキャップボルトを矢印の方向へ回して固定してください。
・ヘッドキャップカバーを取付けてください。
・内装引出しの取り外しは、ヘッドキャップカバーを外し、段付ヘッドキャップボルトがネジダボに当たらないようになるまでゆるめてから、内装引出しを取り出してください。



アース付コンセントの取付け【電気工事】

【MNT ☆ - 90(120)HBATS ＊の場合】

警告

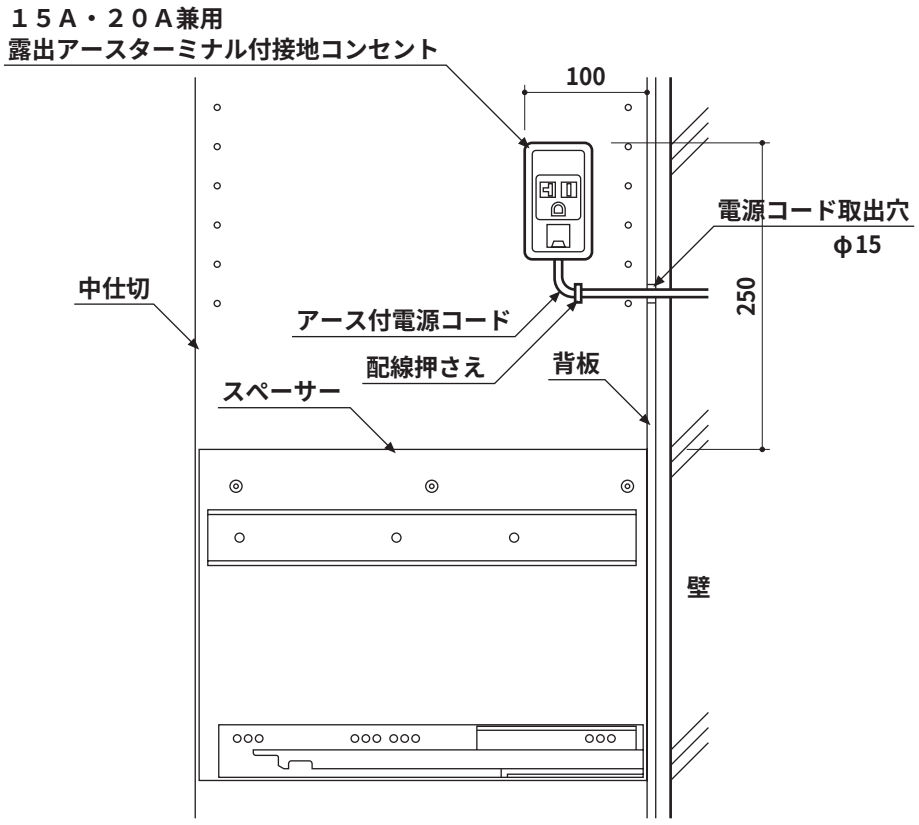
電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。

火災、感電の原因になることがあります。

※アース付家電製品をご使用になる場合は、別途アース付コンセントを設置してください。

・事前にコンセント取付位置付近にアース付電源コードを壁出ししておきます。
・コンセント取付位置付近の背板に電源コード取出用の穴φ15をあけてください。
・事前に壁出ししておいた電源コードをユニット内に引き込み、中仕切の指定位置（下図参照）に１５Ａ・２０Ａ兼用露出アースターミナル付接地コンセントを取付けます。
・電源コードのたるんでいる部分を配線押さえにて固定してください。

※イラストは、スライド収納庫の右側の中仕切の場合を示しますが、左右どちらでも取付け可能です。使用用途に合わせて取付けてください。



ウイングＡＦの取付け

【MNT5J2‐90(120) ＊＊＊＊＊＊ウイングＡＦ仕様の場合】

１．ユニット前面中央のアジャスターの位置に合わせて、幕板にフックを取付けます。（図１）
２．幕板の両端に近い位置に移動用金具を取付けます。（図２）
３．幕板の両サイドにカバー金具を取付けます。（図３）
４．幕板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。（図３）
５．コーナーカバーまたは、エンドカバーのジョイント金具をアジャスターの位置に合わせて取付けます。
　　オープンの場合は図４のようにユニットの側面からコーナーカバーを、壁がくる場合は図４のようにユニットの前面からエンドカバーを取付けます。
６．幕板に取付けておいたカバー金具をコーナーカバーまたはエンドカバー側へスライドさせます。（図６）

図１

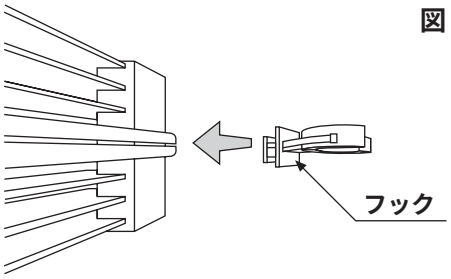


図２

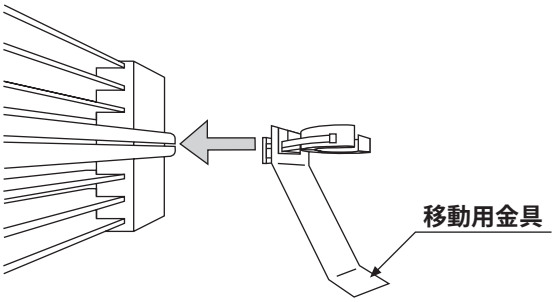


図３

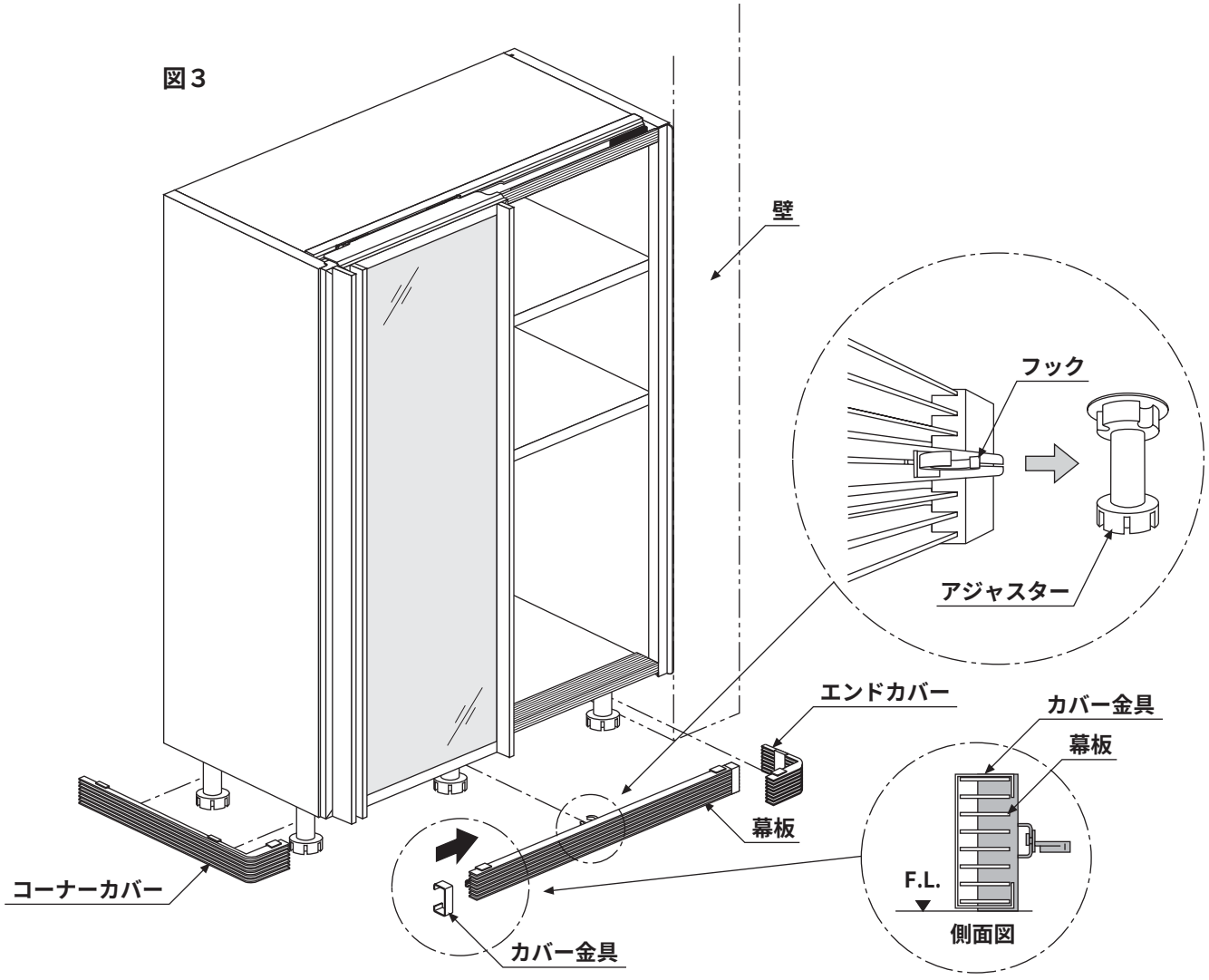


図4

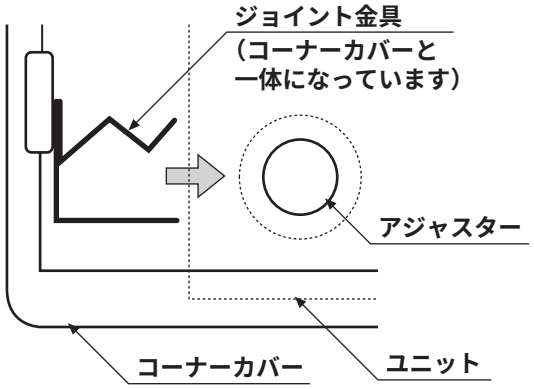

ジョイント金具
（コーナーカバーと
一体になっています）
アジャスター
コーナーカバー
ユニット
ユニット前面

図5

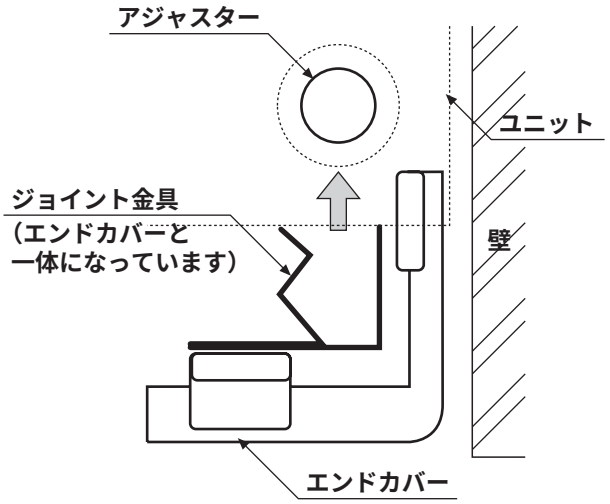
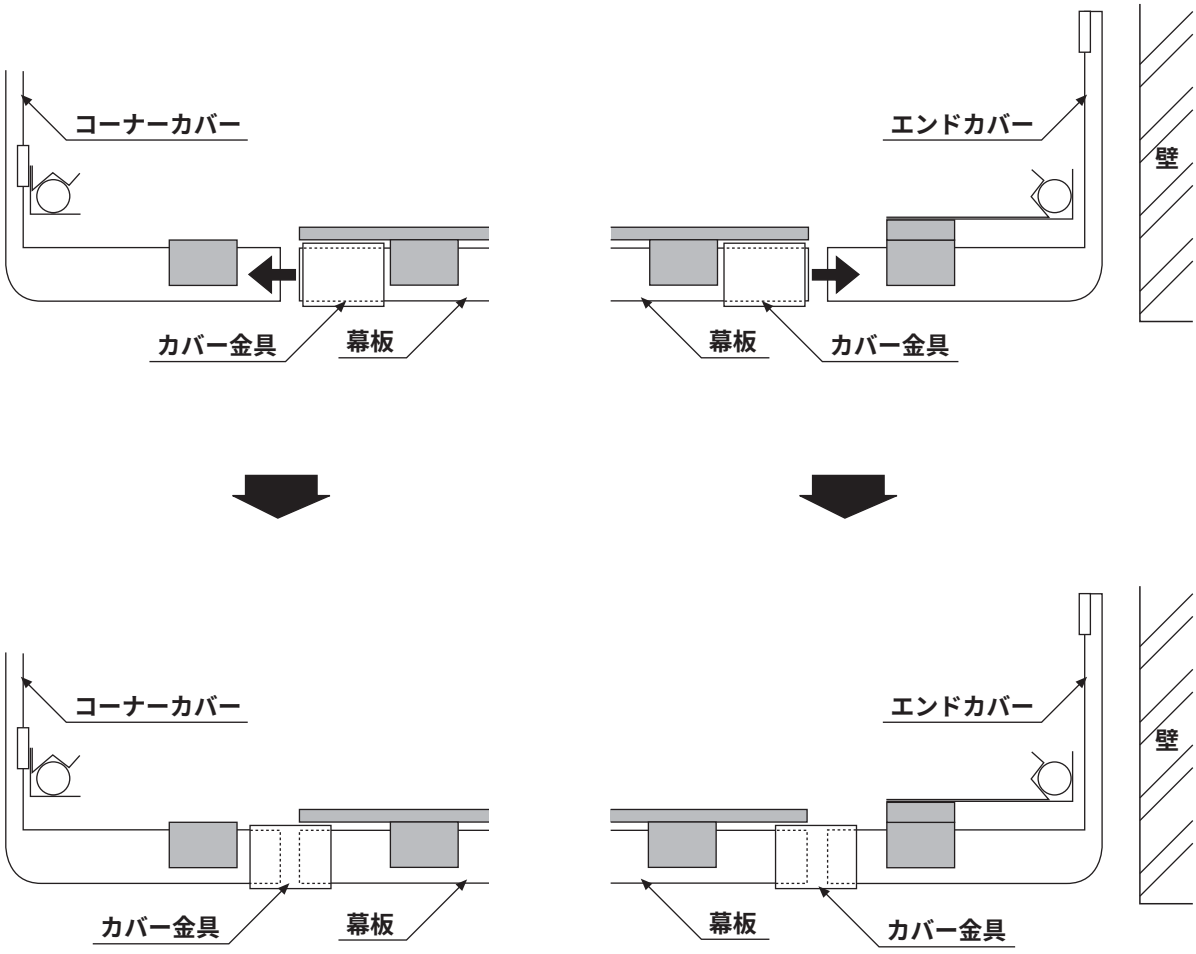

アジャスター
ユニット
ジョイント金具
（エンドカバーと
一体になっています）
壁
エンドカバー
ユニット前面

図6

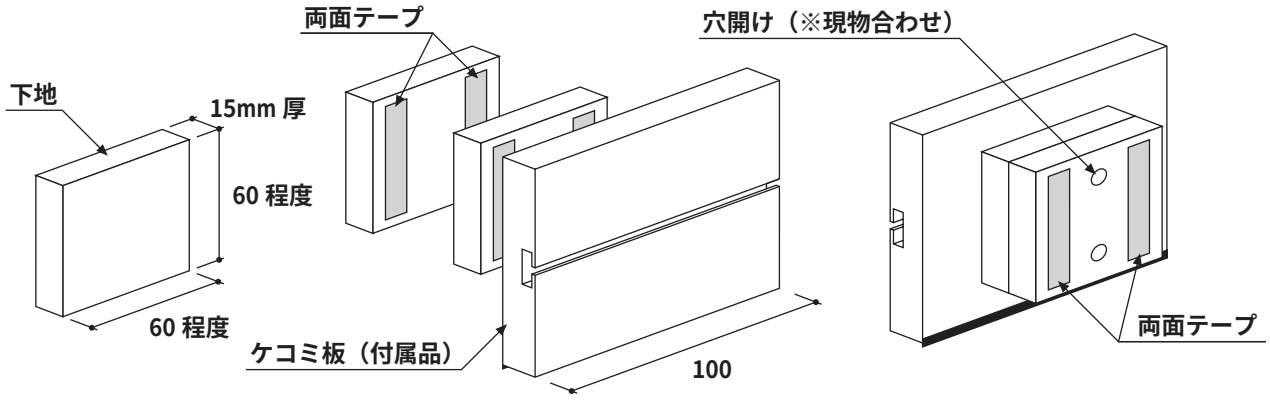

コーナーカバー
カバー金具
幕板
エンドカバー
壁
幕板
カバー金具
コーナーカバー
カバー金具
幕板
エンドカバー
壁
幕板
カバー金具

ステンレスカバーＡＦの取付け

【MNT1(5)J2‐90(120) ＊＊＊＊＊＊ステンレスカバーＡＦ仕様の場合】

■補助スペーサーの準備

・厚さ１５mmの端材にて６０角程度の下地を２枚作ります。
・両面テープにて付属のケコミ板（長さ１００mm）の中央に下地２枚を貼り付けます。
・下地に両面テープを貼っておきます。
※両面テープ表面のハク離紙はめくらないでください。
・ケコミ前板の補助スペーサー取付位置にあるリベットに下地が当たらないように、大きめの穴を開けます。



■ケコミ板の取付け

１．ケコミ前板に付いているスプリングキャッチ（ストライク）を外し、ケコミ側板の開口部に取付けます。（図１）
※　壁がくる（ケコミ側板を使用しない）場合はスプリングキャッチ（ストライク）は破棄してください。
２．アジャスターの位置に合わせて、ケコミ側板にフックを取付けます。（図２）
３．ケコミ側板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。（図３）
４．補助スペーサーにフックを取付け（図２）、ユニット前面中央のアジャスターにはめ込みます。
※　補助スペーサーの取付け時は、引き戸を開けておくと作業がしやすくなります。
５．補助スペーサーの両面テープのハク離紙をめくり、ケコミ側板とケコミ前板のスプリングキャッチ（２ヶ所）の位置を合わせながら、ケコミ前板を取付けます。（図４）
※　スプリングキャッチがしっかり嵌まったのを確認してください。
※　ケコミ前板が外れないように、前面からしっかり押さえてください。

図１

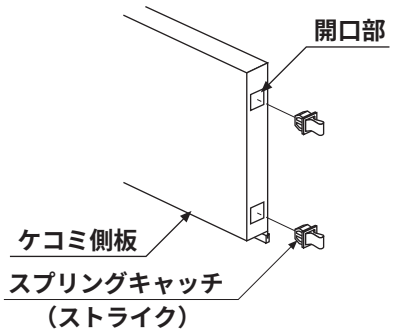


図２

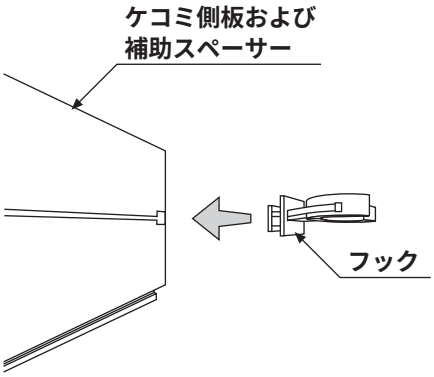


図３

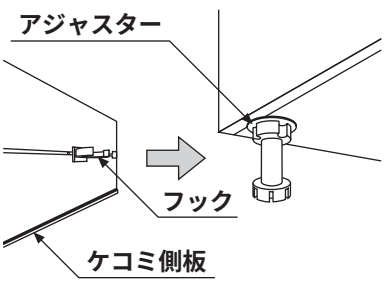
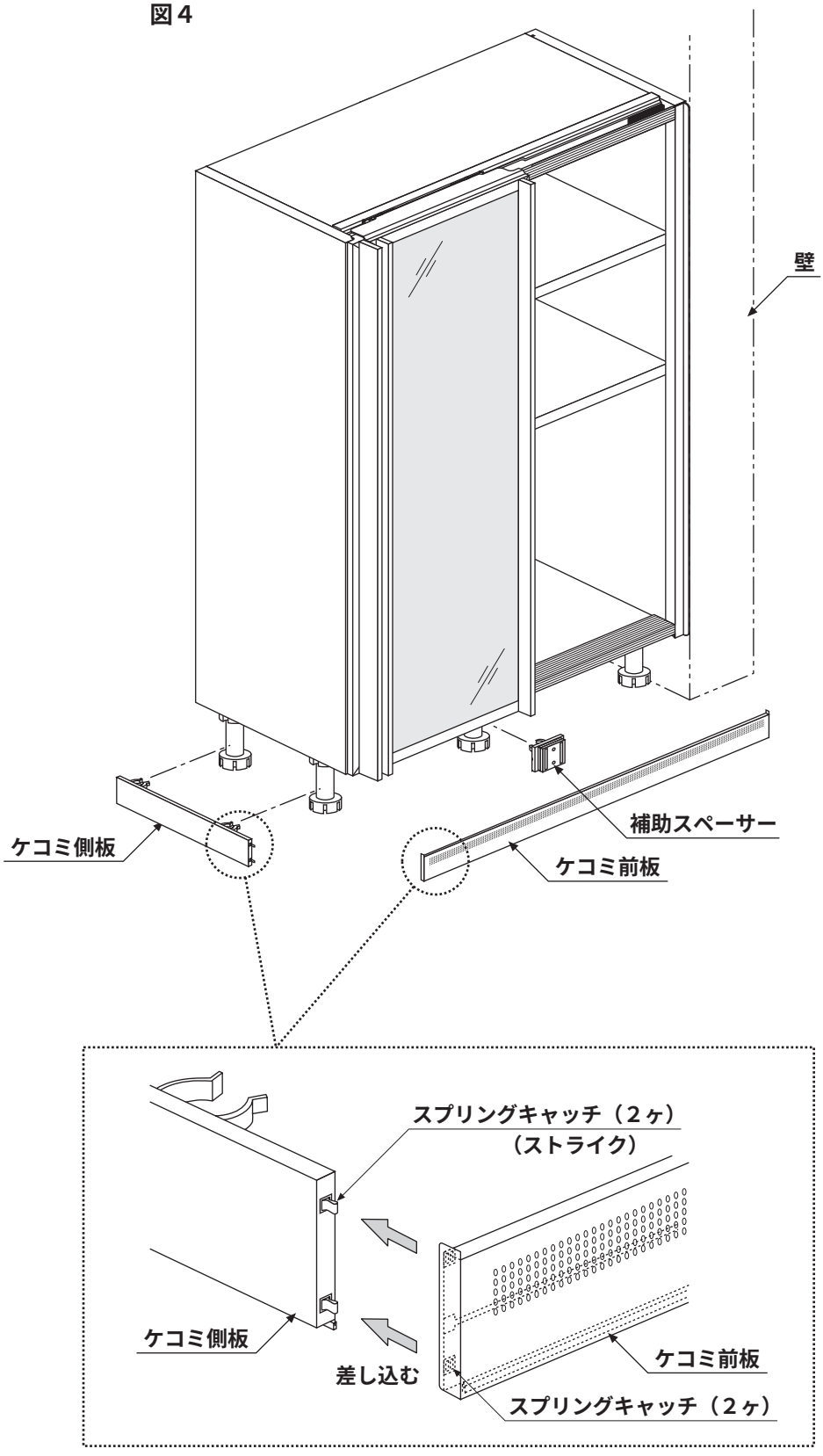


図４

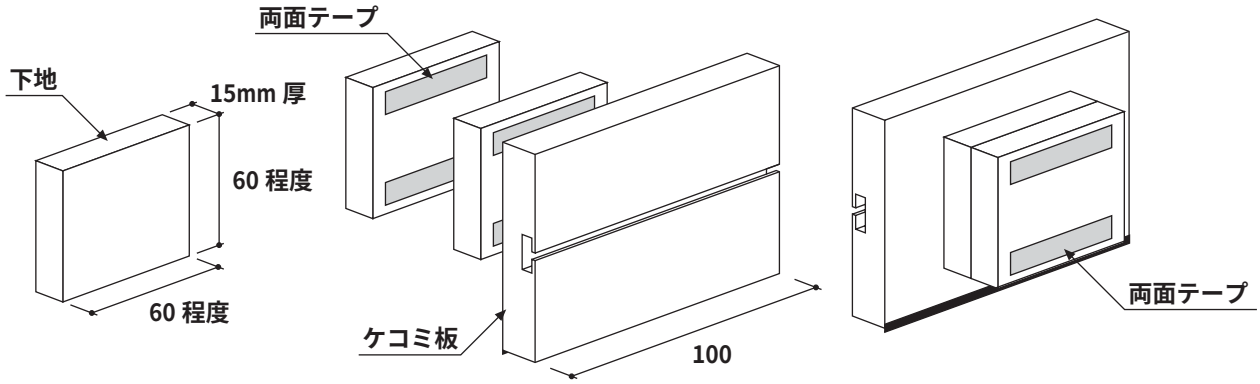

壁
補助スペーサー
ケコミ前板
ケコミ側板
スプリングキャッチ（２ヶ）
（ストライク）
ケコミ側板
差し込む
ケコミ前板
スプリングキャッチ（２ヶ）

ケコミ板の取付け

【MNT1J2‐90(120) ＊＊＊＊＊ケコミ板仕様の場合】

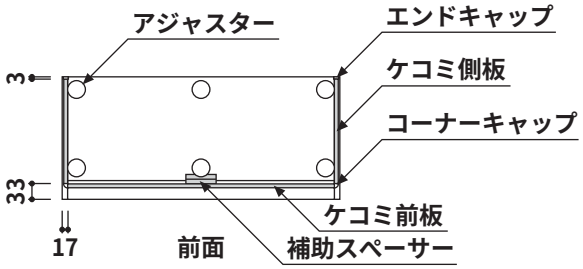
■補助スペーサーの準備

・厚さ１５mmの端材にて６０角程度の下地を２枚作ります。
・ケコミ板を長さ１００mmにカットします。
・両面テープにてケコミ板の中央に下地２枚を貼り付けます。
・下地に両面テープを貼っておきます。
※両面テープ表面のハク離紙はめくらないでください。



■ケコミ板の準備

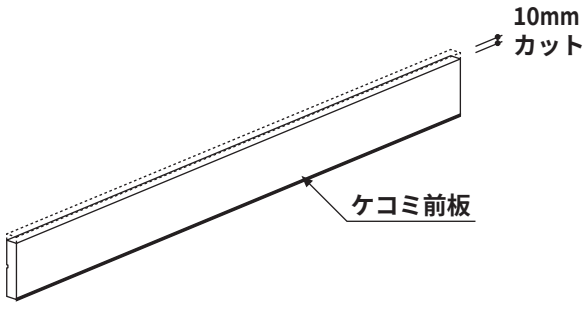
・右図の通りケコミ板を必要な長さにカットしてください。



■ケコミ前板の加工

【単独置きの場合】

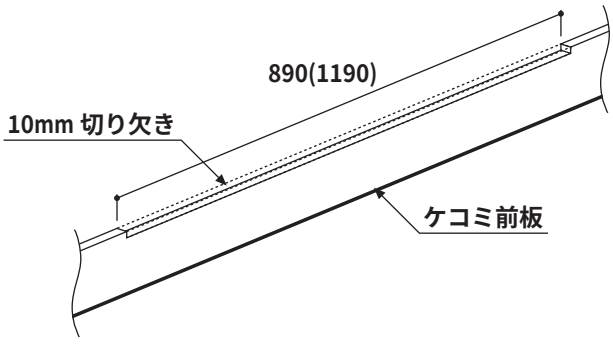
・ケコミ前板の上を１０mmカットしてください。



【ユニットが連結する場合】

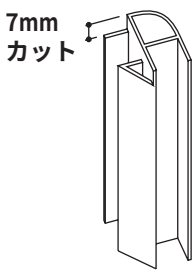
・ケコミ前板をユニットに合わせ、下レールがくる位置を下図の寸法に１０mm切り欠いてください。

※（ ）内寸法は、W１２００の場合を示す。



■コーナーキャップの加工

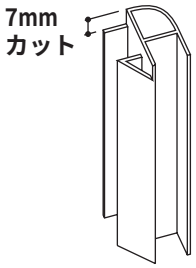
・コーナーキャップの前面にくる方の上側を右図の寸法にカットしてください。
※Ｒ・Ｌがありますので、カットする向きに注意してください。



■コーナーキャップの加工

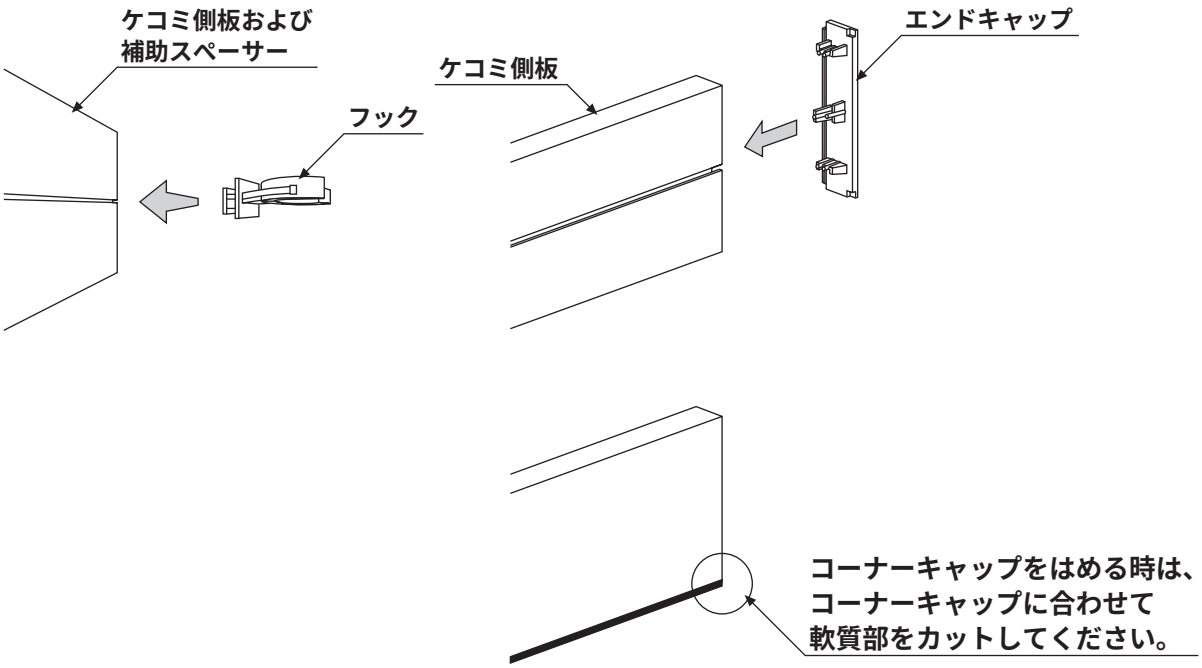
・コーナーキャップの前面にくる方の上側を右図の寸法にカットしてください。

※R・Lがありますので、カットする向きに注意してください。



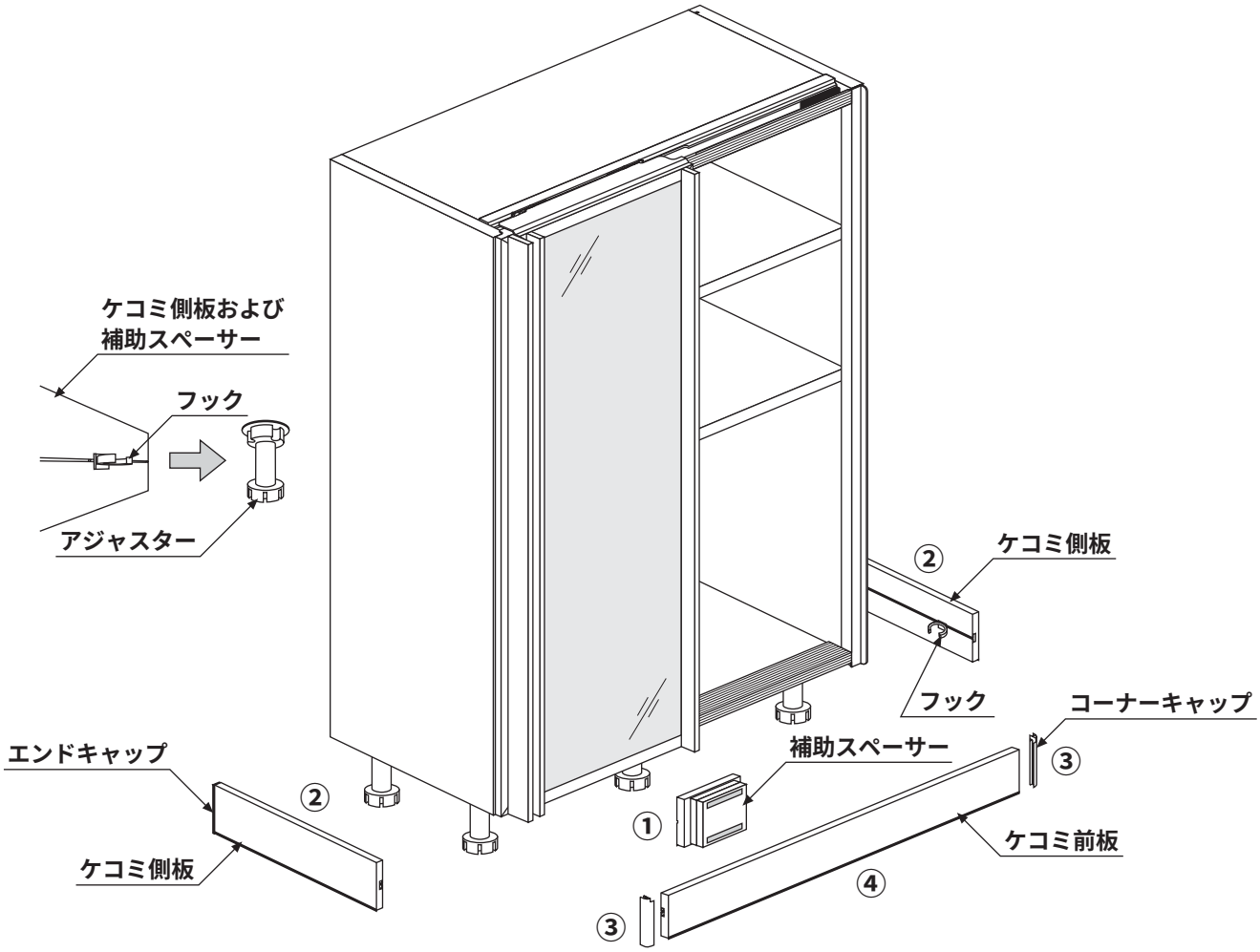
■フック、エンドキャップの取付け

・アジャスターの位置に合わせて、ケコミ側板にフックを取付けます。
・補助スペーサーにフックを取付けます。
・ケコミ側板にエンドキャップをはめ込んでください。



■ケコミ板の取付け

1．補助スペーサーに取付けたフックをユニット前面中央のアジャスターにはめ込みます。
※　**補助スペーサーの取付け時は、引き戸を開けておくと作業がしやすくなります。**
2．ケコミ側板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。
3．ケコミ前板にコーナーキャップを差し込みます。
4．補助スペーサーの両面テープのハク離紙をめくり、コーナーキャップをケコミ側板に差し込みながら、ケコミ前板を貼り付けます。
※　**ケコミ前板が外れないように、前面からしっかり押さえてください。**



※ユニットが連結する場合は、「ｆｏｏ　据付工事説明書」のケコミ板の取付けに準ずる。

据付け後の確認

・ミニフィックスケーシングにカバーキャップ（ミニフィックス）が取付いているか確認してください。
（天板４ヶ所・底板４ヶ所・中仕切４ヶ所・・・・全部で１２ヶ所）
・スライディングブロックが引き戸にしっかり取付いているか確認してください。
・引き戸の目地を確認してください。
・引き戸の開閉具合を確認してください。

※スライドドア収納庫の分解は、組立てと逆の手順で行ってください。
ただし、分解・組立ては必ず専用業者に依頼してください。

据付け後の点検・清掃

① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。

② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いか調べてください。

ホルムアルデヒド発散区分	**内装仕上げ部分及び下地部分とも　F☆☆☆☆**
表　示　ル　ー　ル	**「住宅部品表示ガイドライン」** **キッチンバス工業会　表示指針による**
製　造　番　号	**本体に貼り付けの検査証をご確認ください**
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	**化粧パネル（ＰＢ）　F☆☆☆☆** **ＭＤＦ　F☆☆☆☆** **合　板　F☆☆☆☆** **接着剤　F☆☆☆☆**

MEMO

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、http://www.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

TOYO KITCHEN®
http://www.toyokitchen.co.jp
トーヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6 - 4 -10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp
東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金 沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS118
06.2